

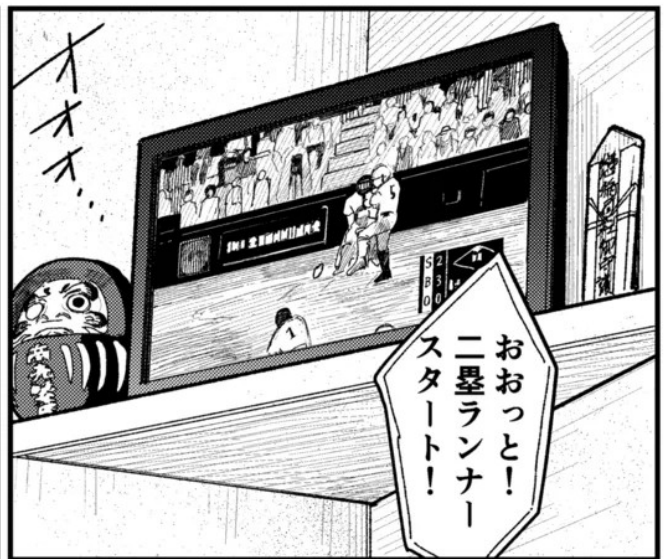
町中華、 準備中に 人妻は：

本文 80p

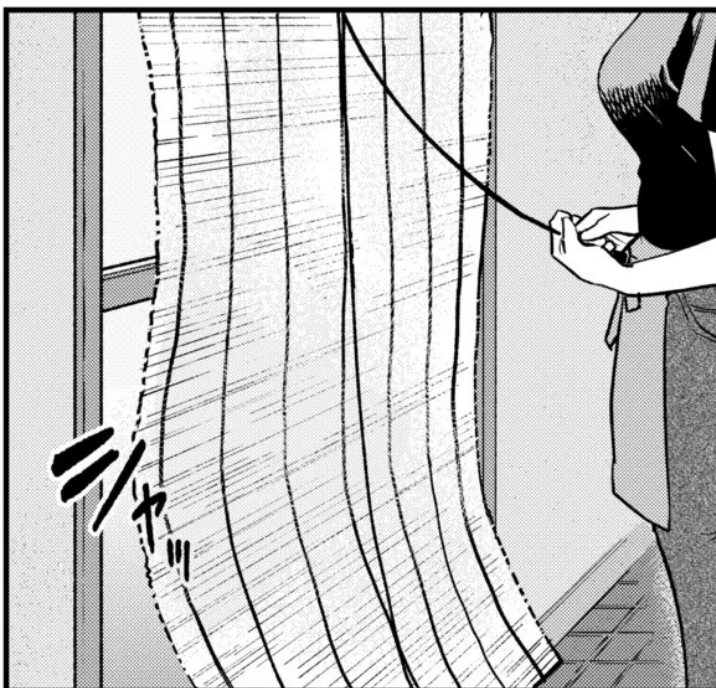


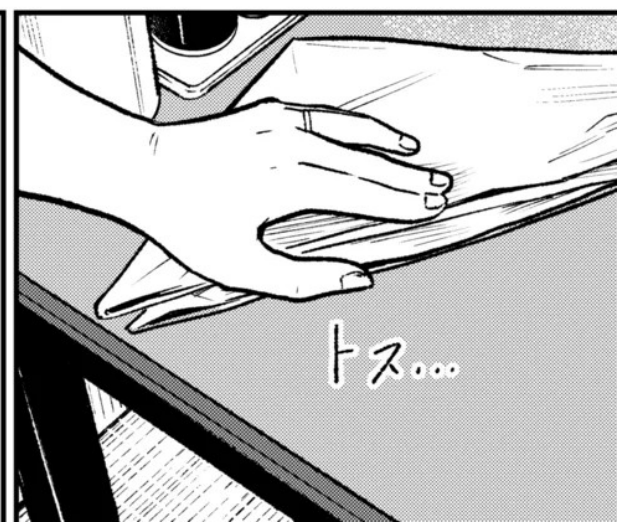


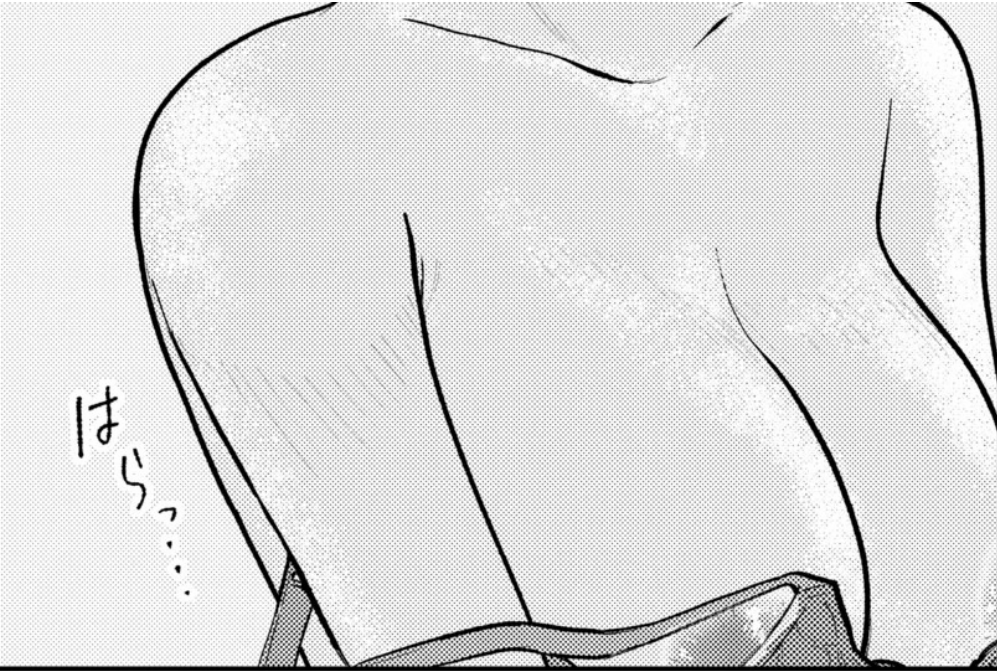
町中華、
準備中に
人妻は：











脱ぎました……

野菜スープ 4350

ピーマン炒め物 1900

鈴子粉 1900

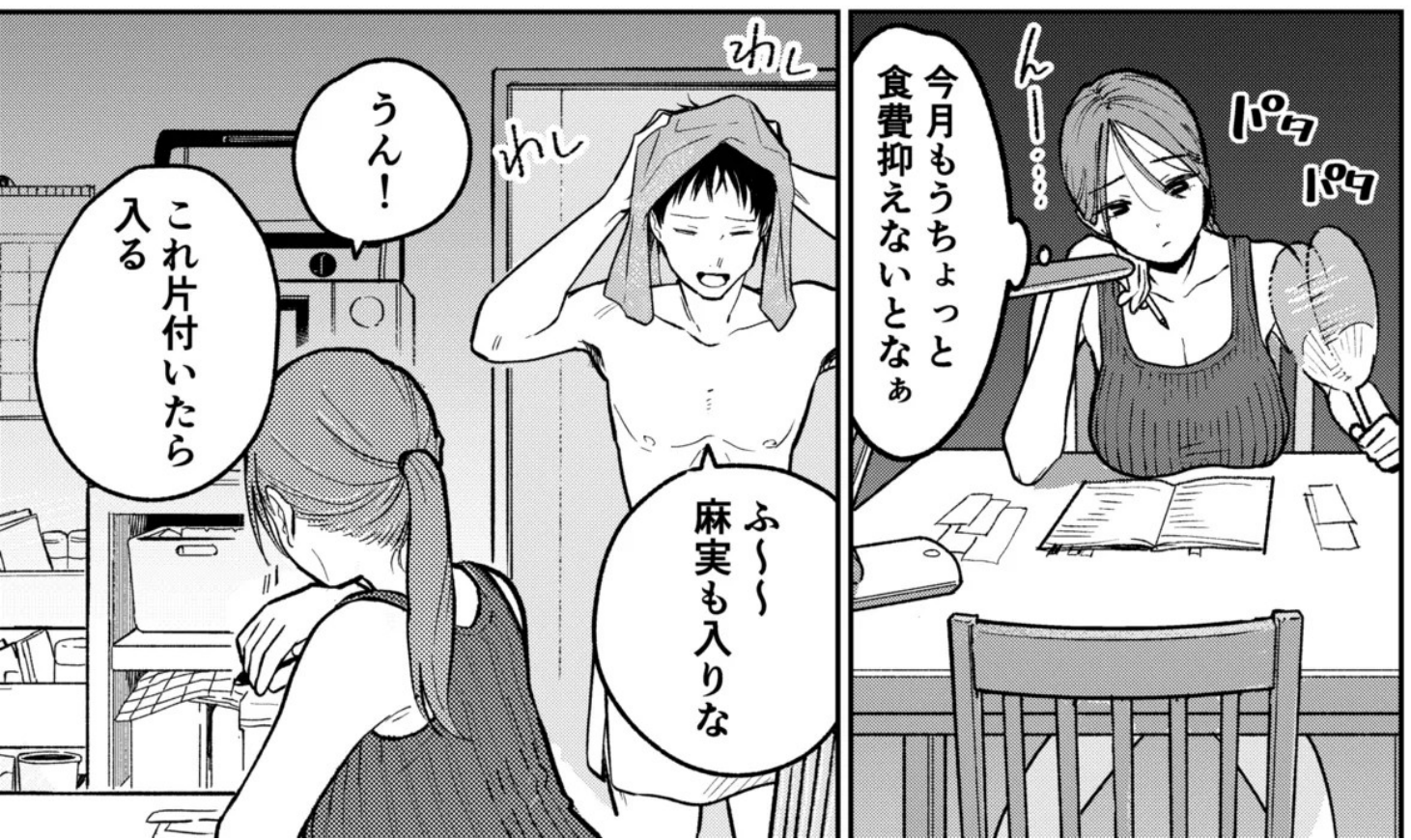
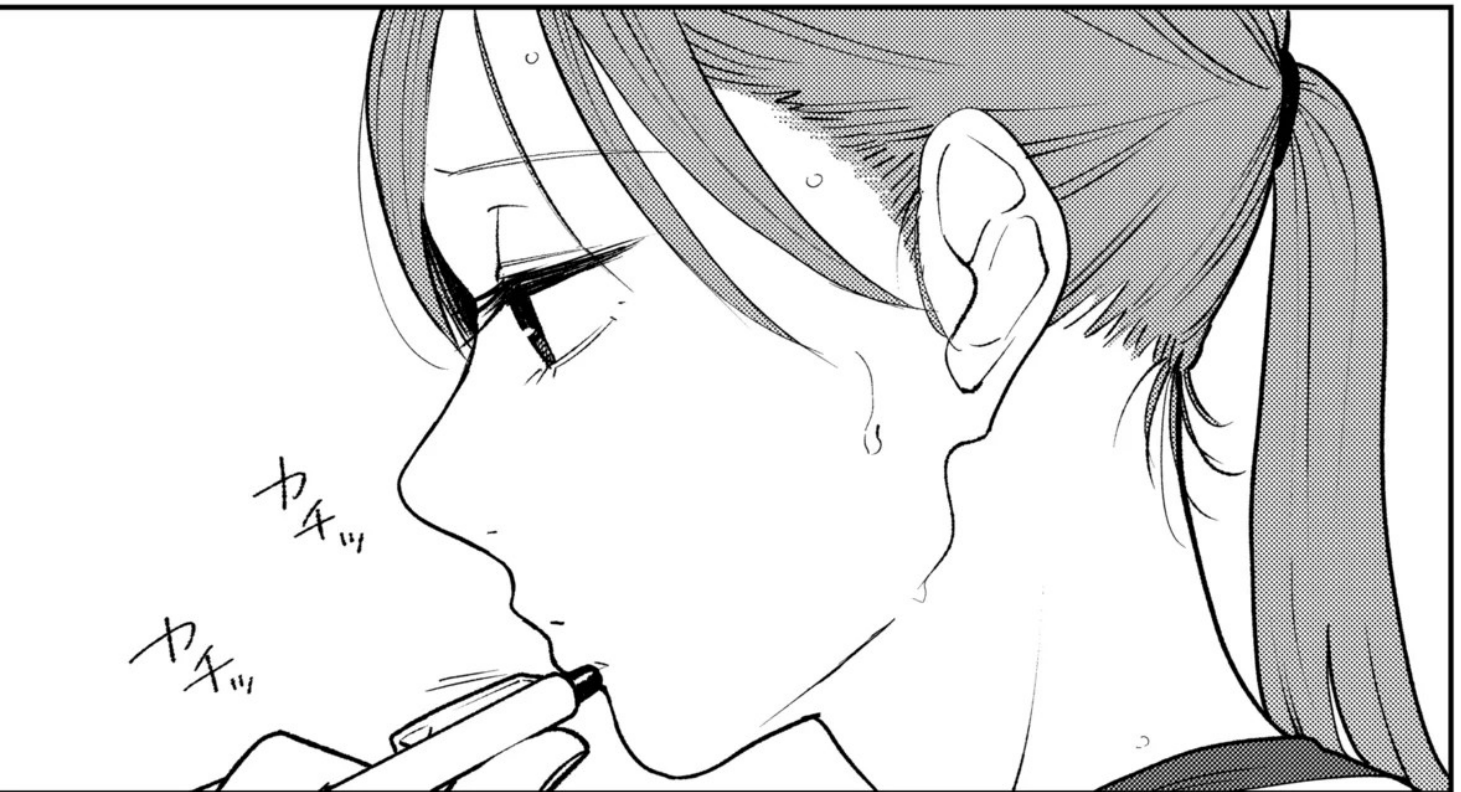
酢豚 1900

八宝菜 1900

鶏肉とコーン 1900

うん……

一ヶ月前

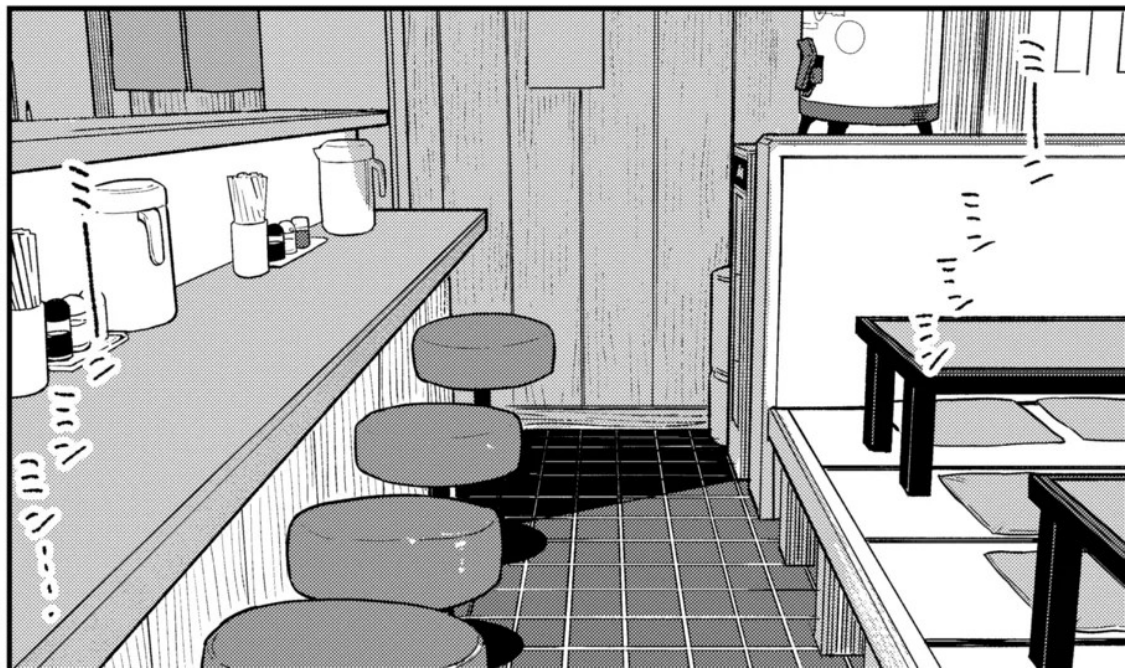
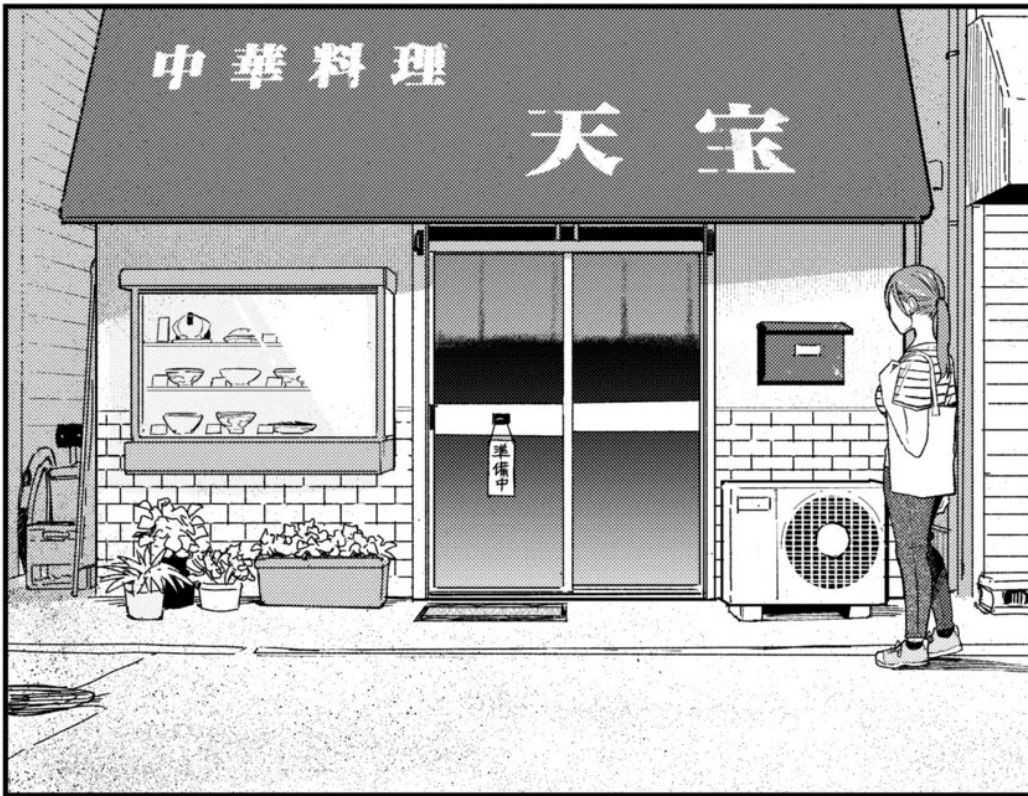
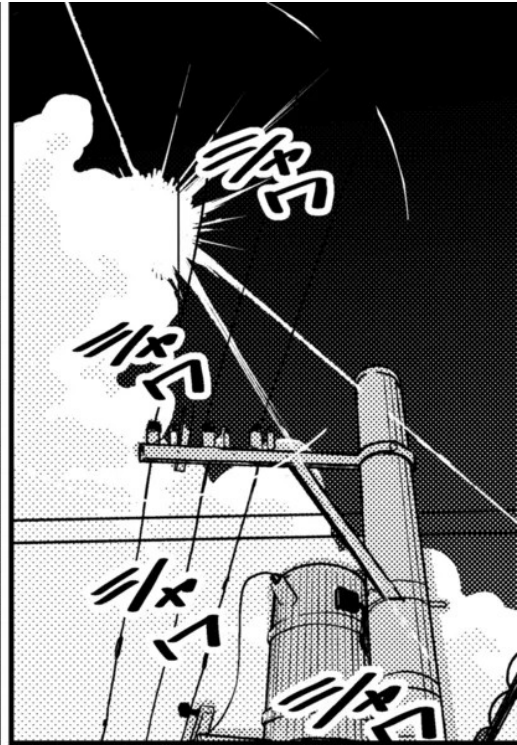
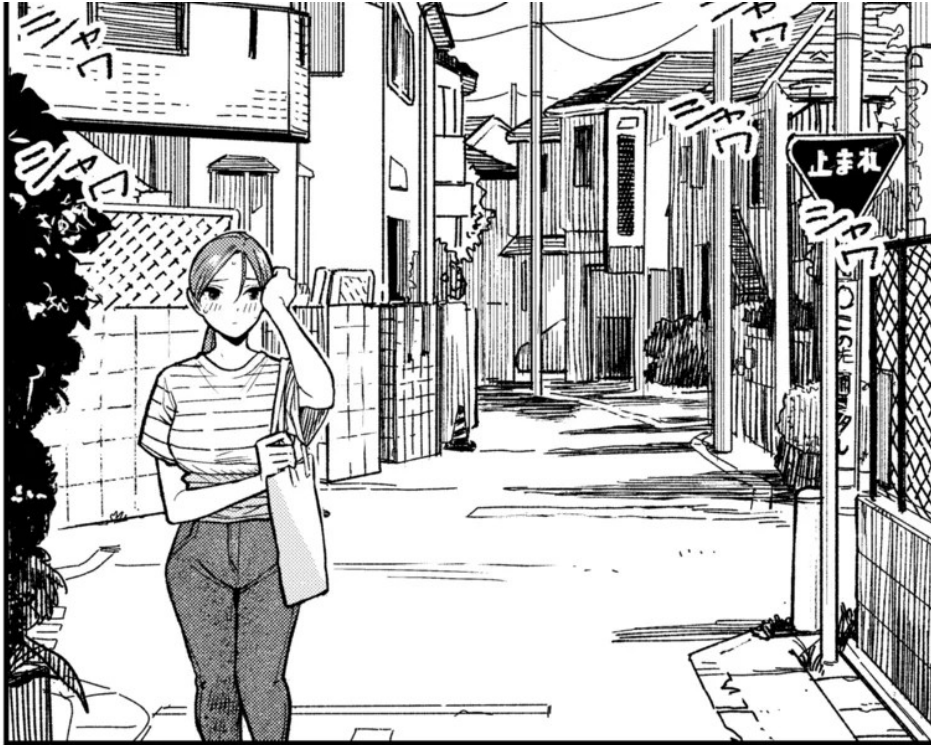


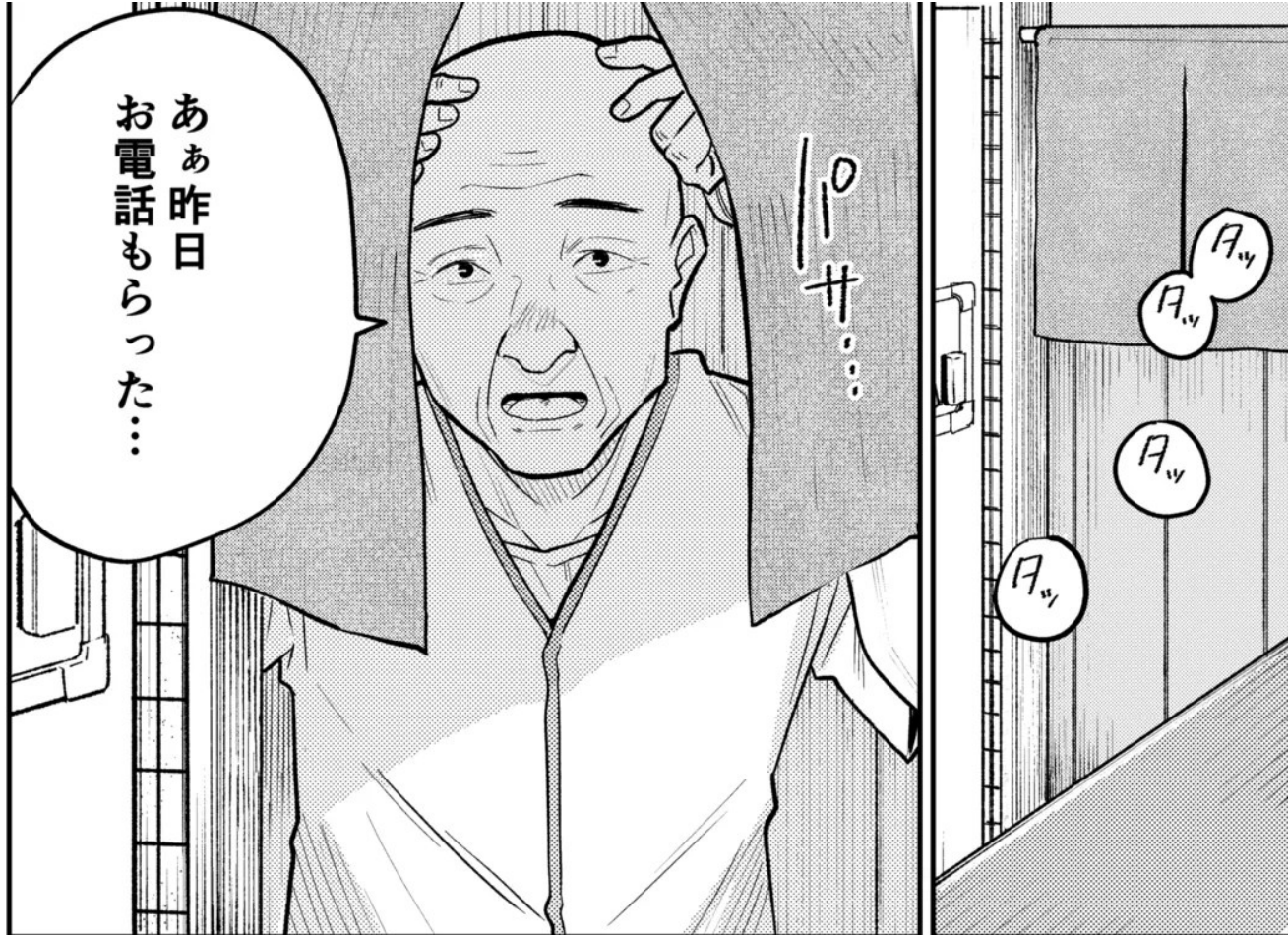


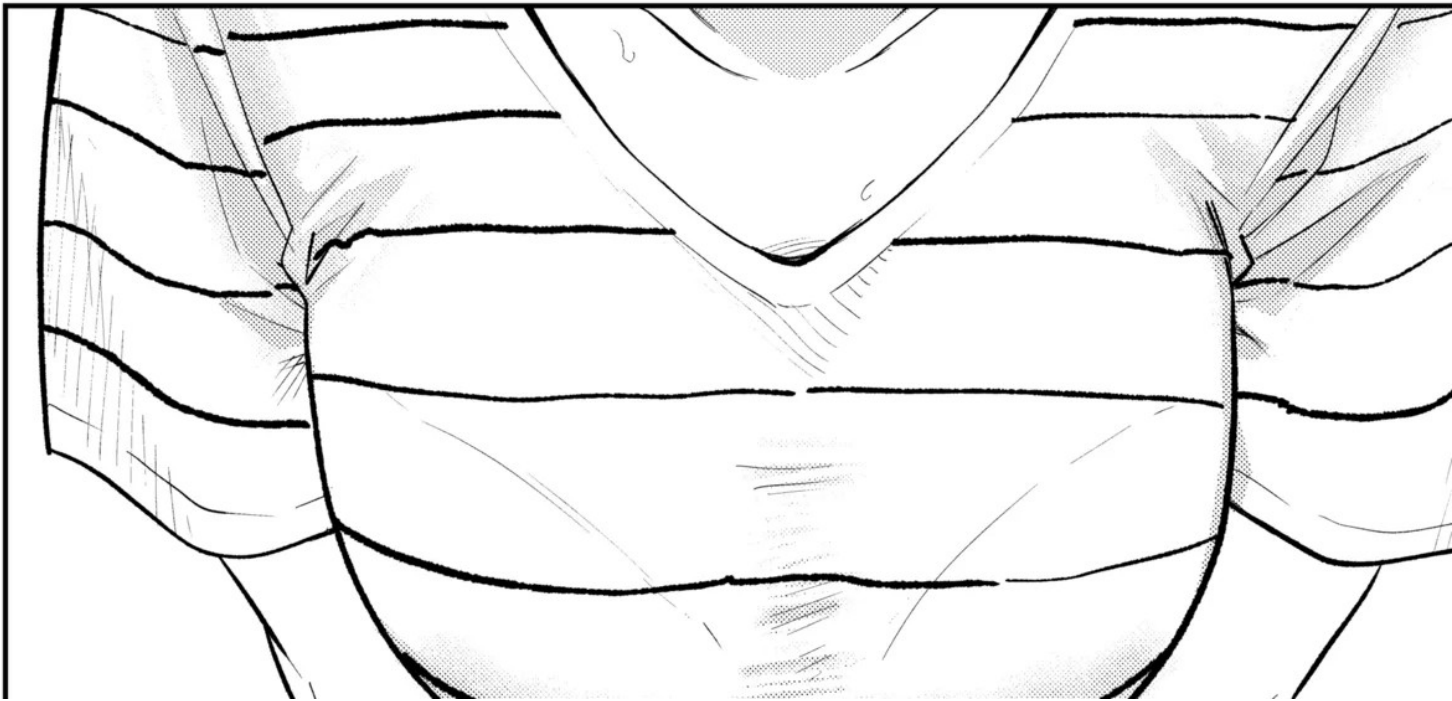
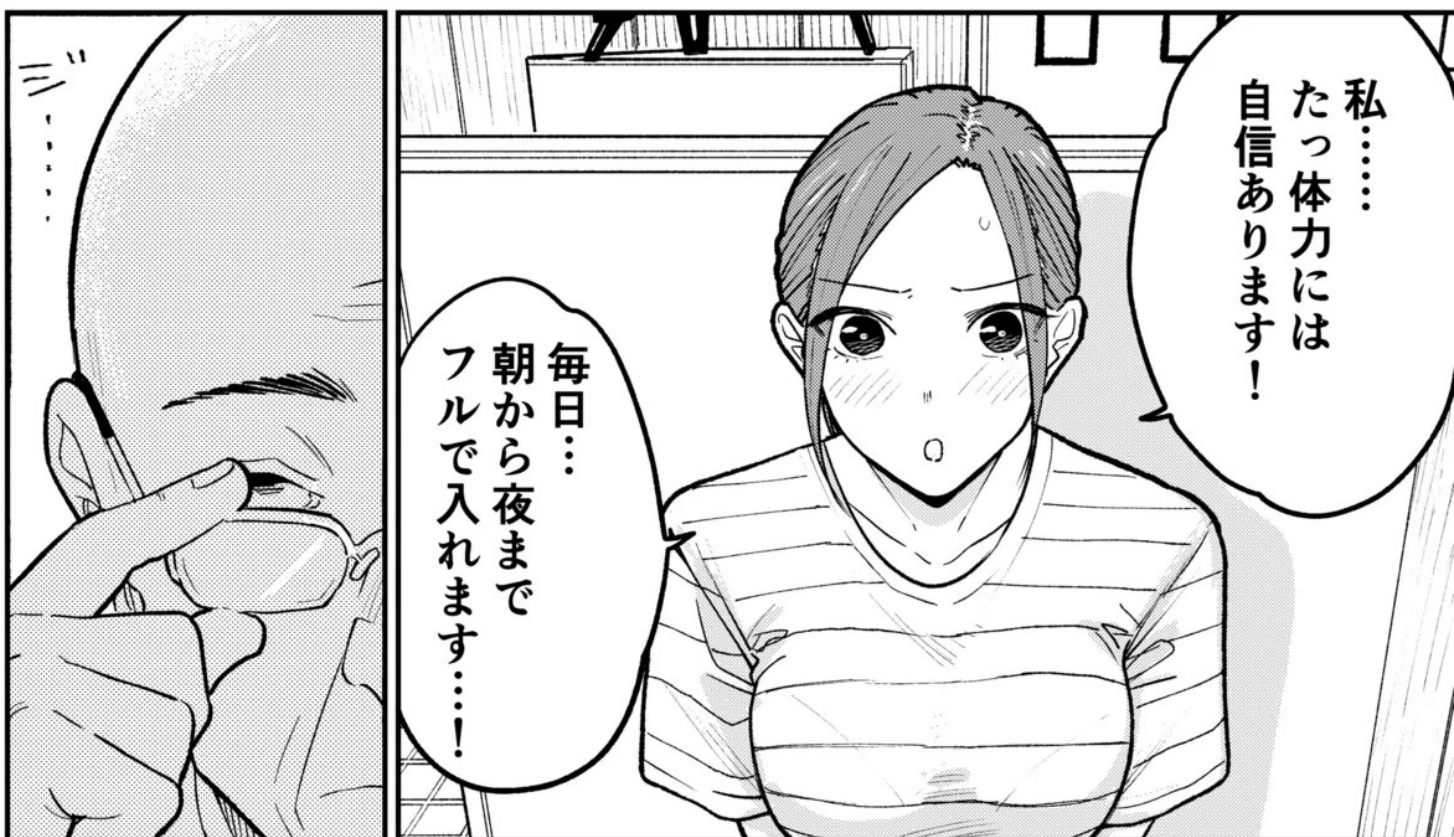




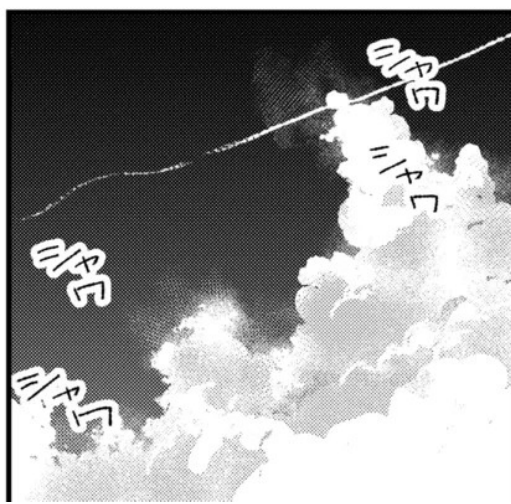








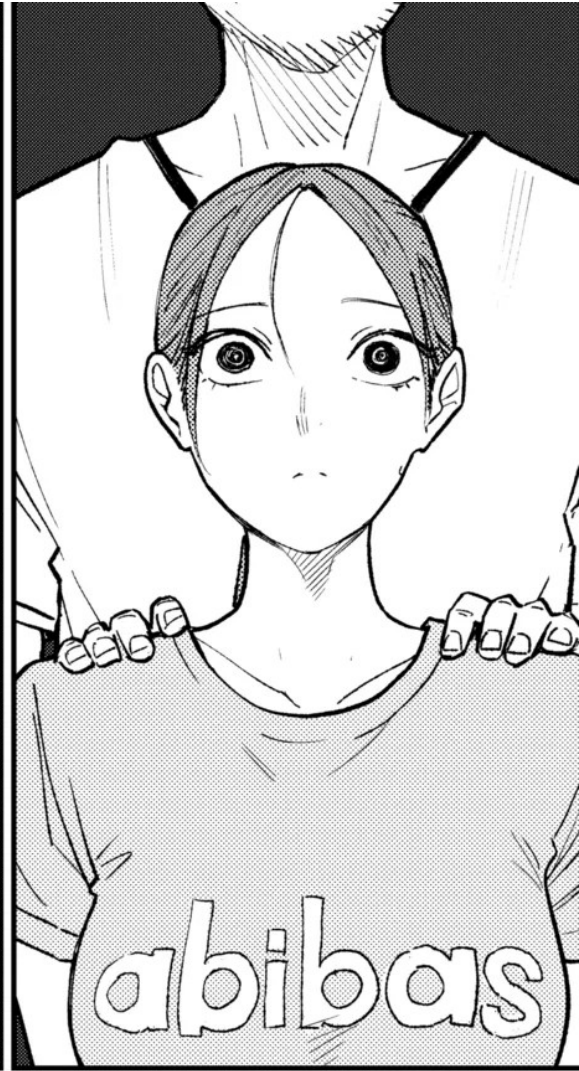






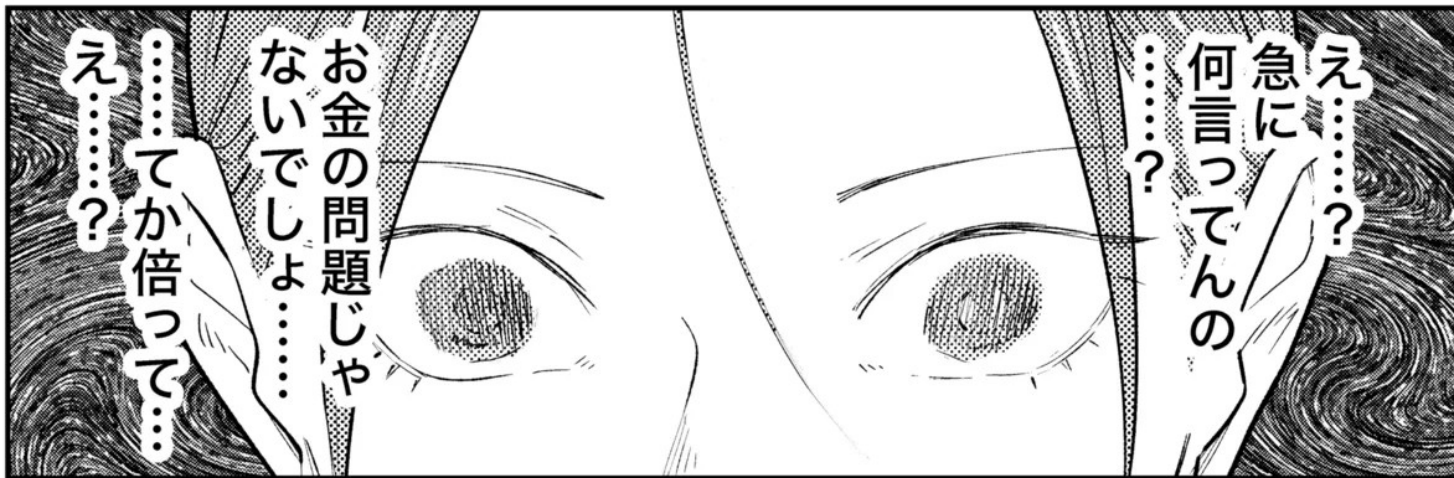






もちろん
タダって
わけじゃない…

時給を今の
倍にするってので
どうだ……？



え……？
急に
何言ってんの
……？

お金の問題じゃ
ないでしょ……
……てか倍って
え……？

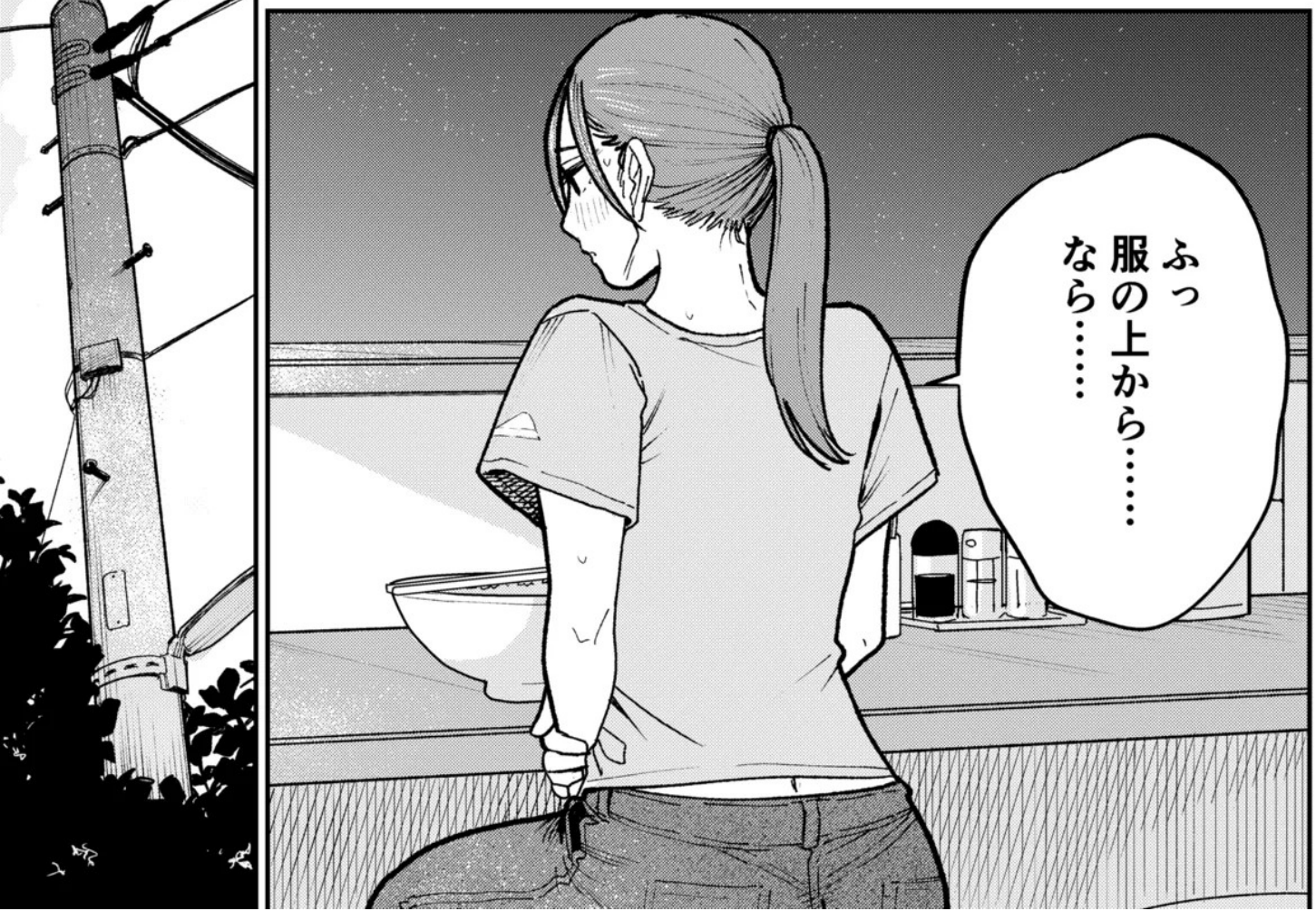


いやいや
だからって
胸揉ませるとか
ありえないから……！！

……でも



この辺で
そんなおいしい時給
他にないよ……？







ハリがあつて
ずっしり
重くて……

こりや
仕事の疲れが
吹き飛ぶ



こんな胸に
お目にかかったのは
初めてだ……

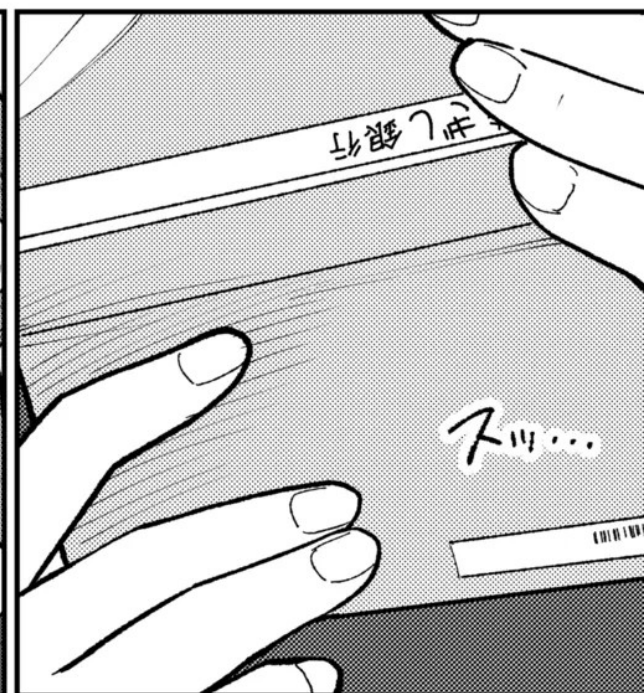


お金の
ためだ……

我慢だ
私……!



準備中





はじめは少し
胸を揉ませるだけの
つもりだった……



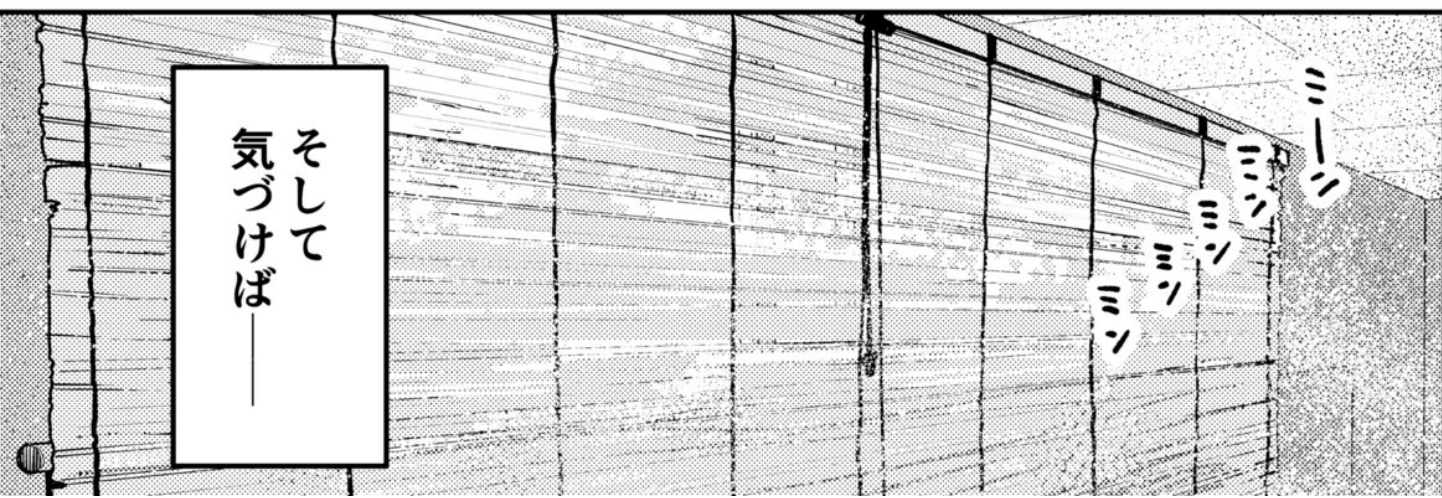
それが
店長の要求は
ひごとに増えていき

時間も
長くなっていった

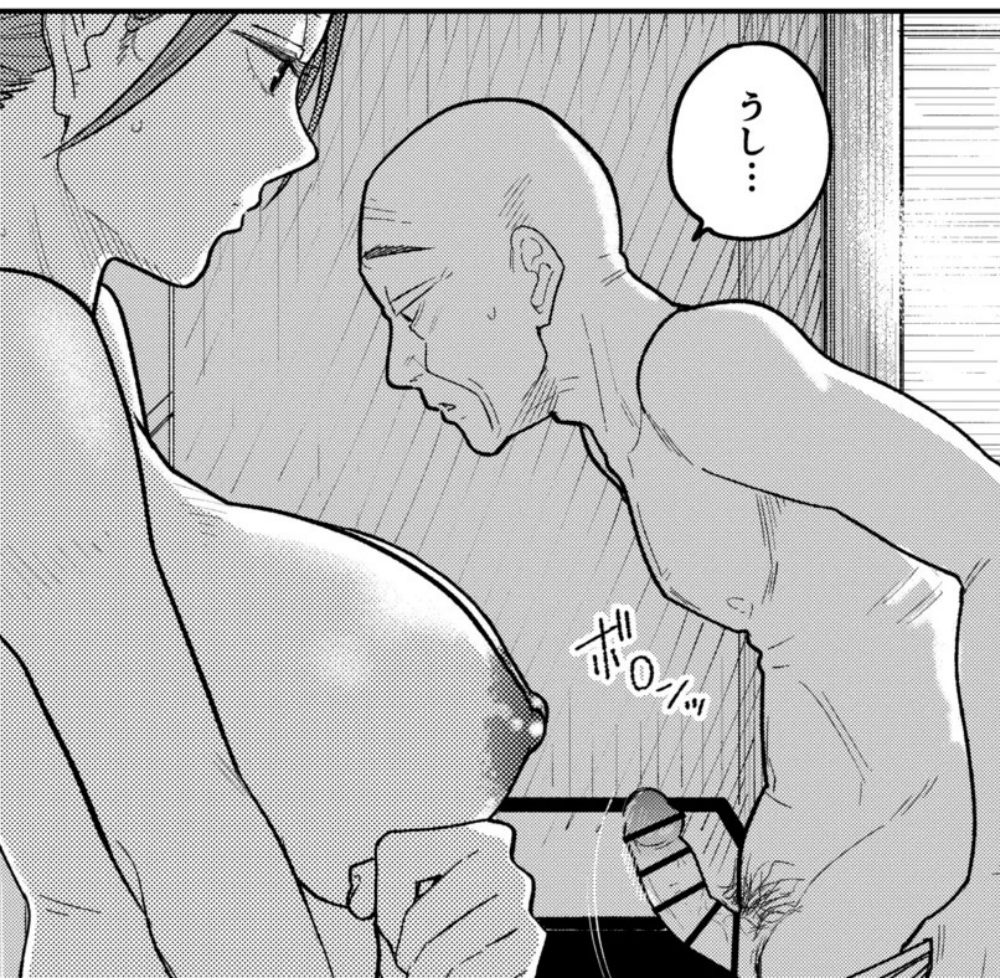


私は
家計のためだと
自分に言い聞かせ

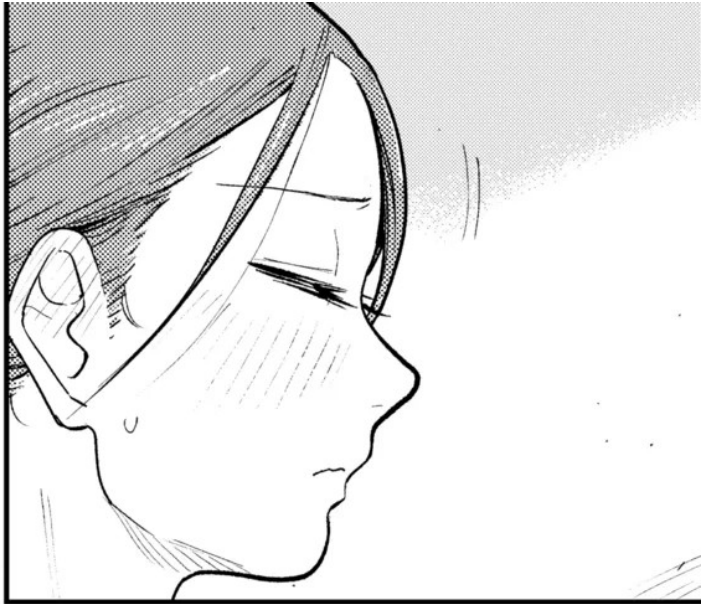
店長の性欲に
応え続けた

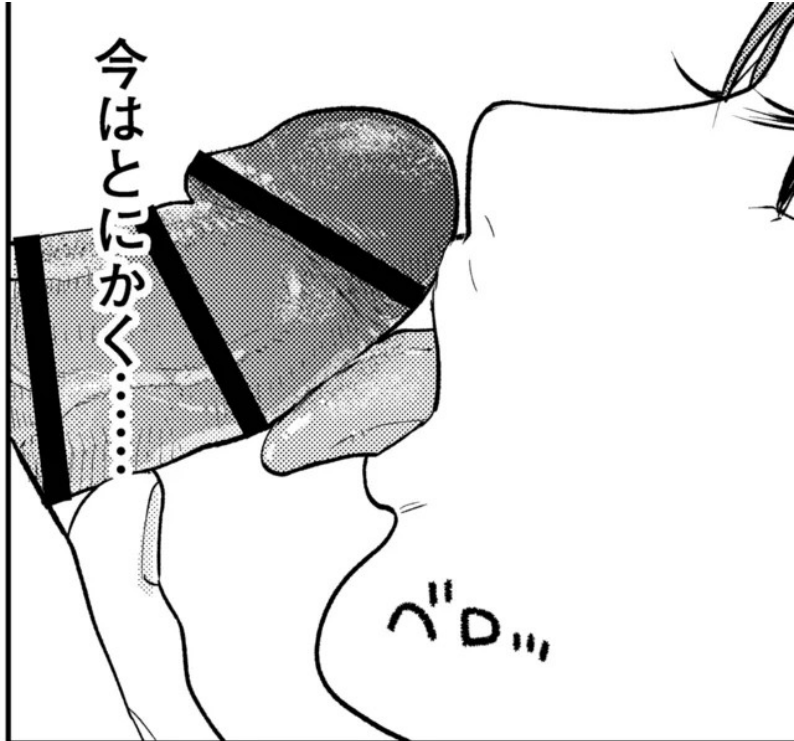


そして
気づけば――

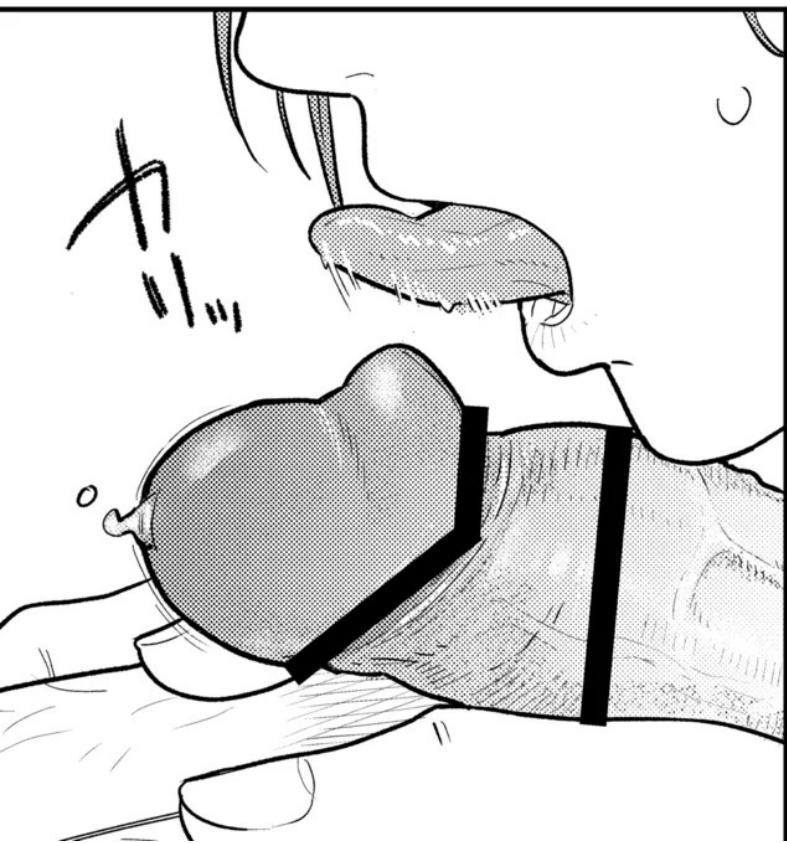
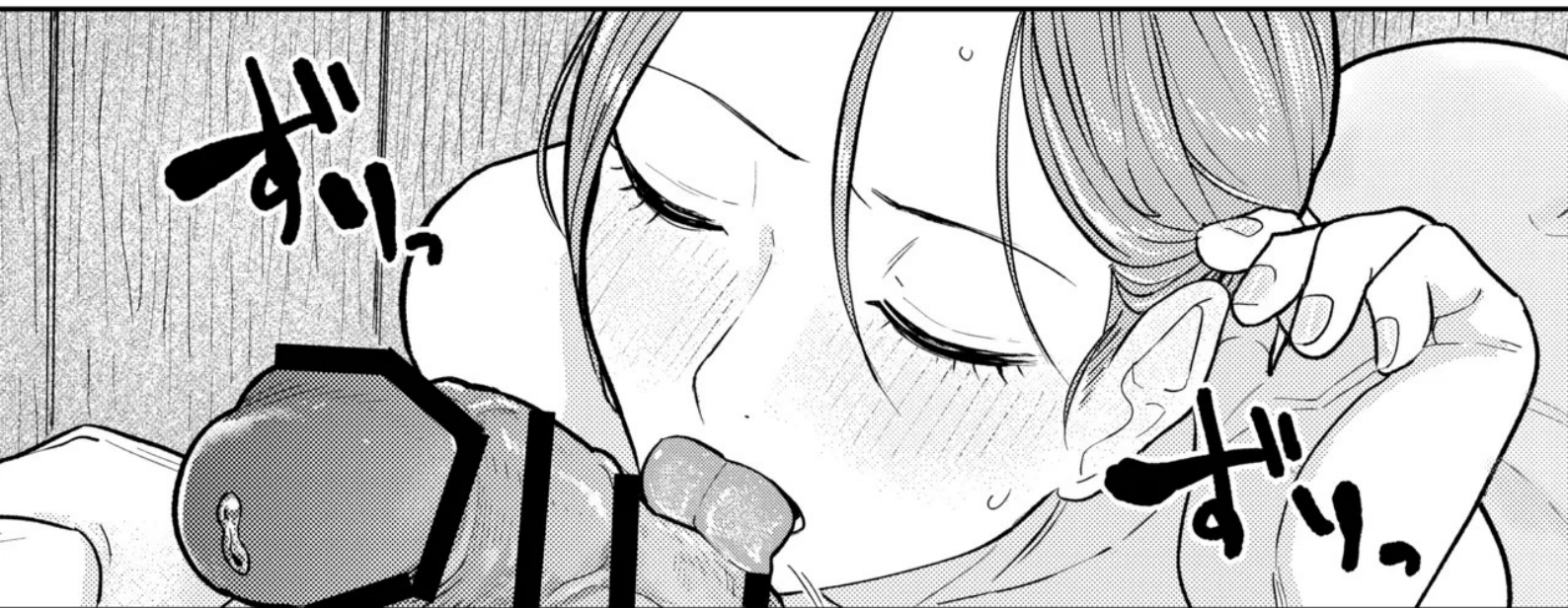


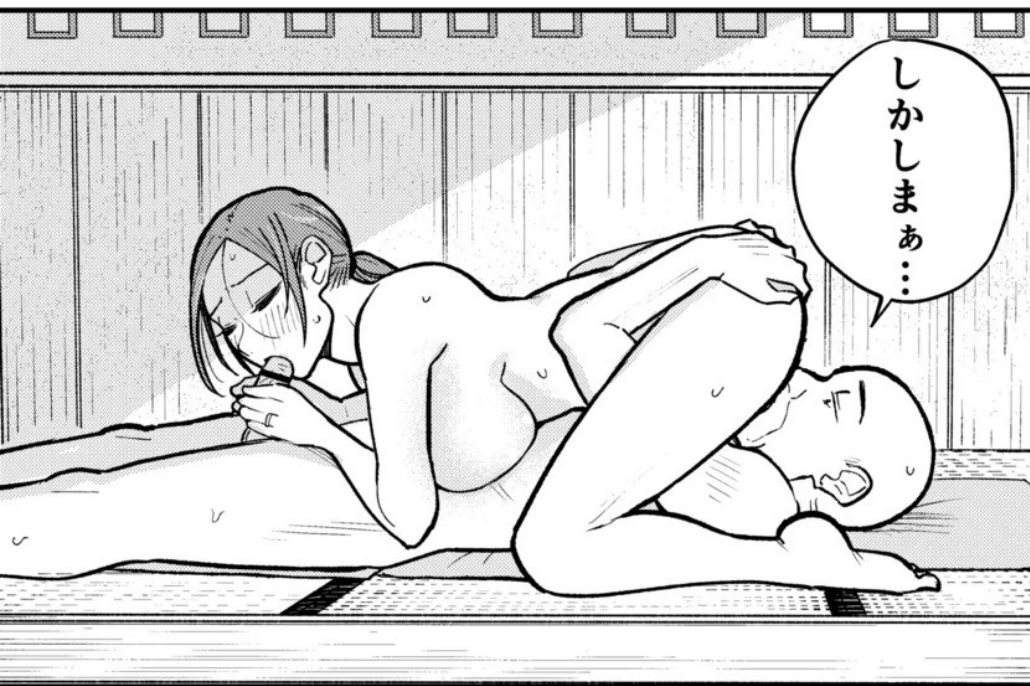
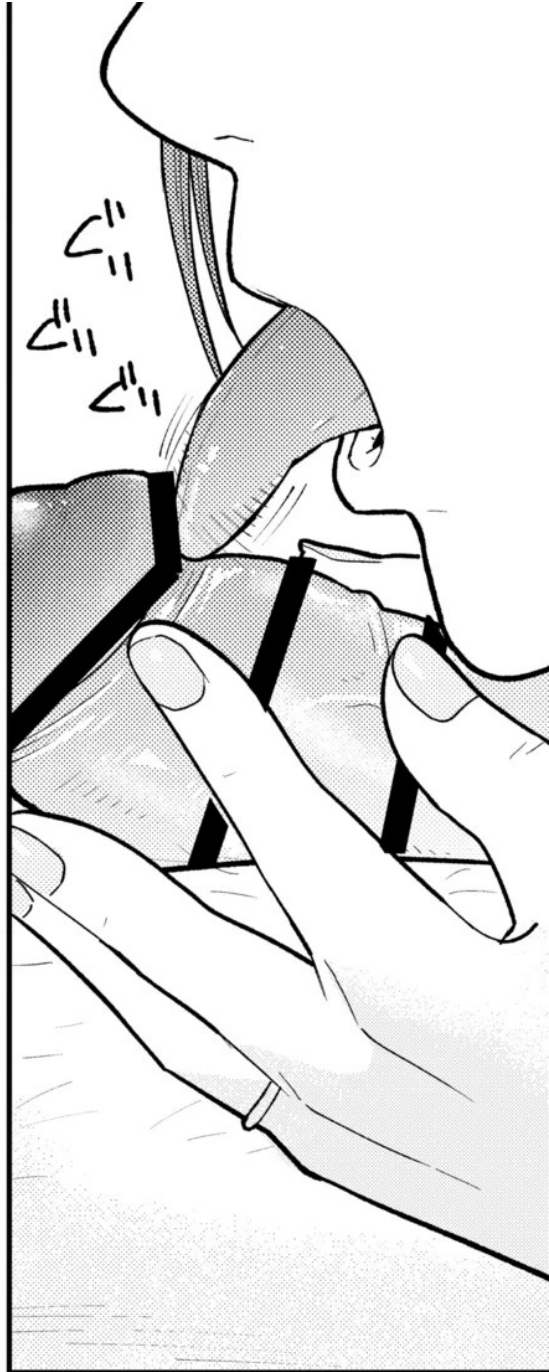


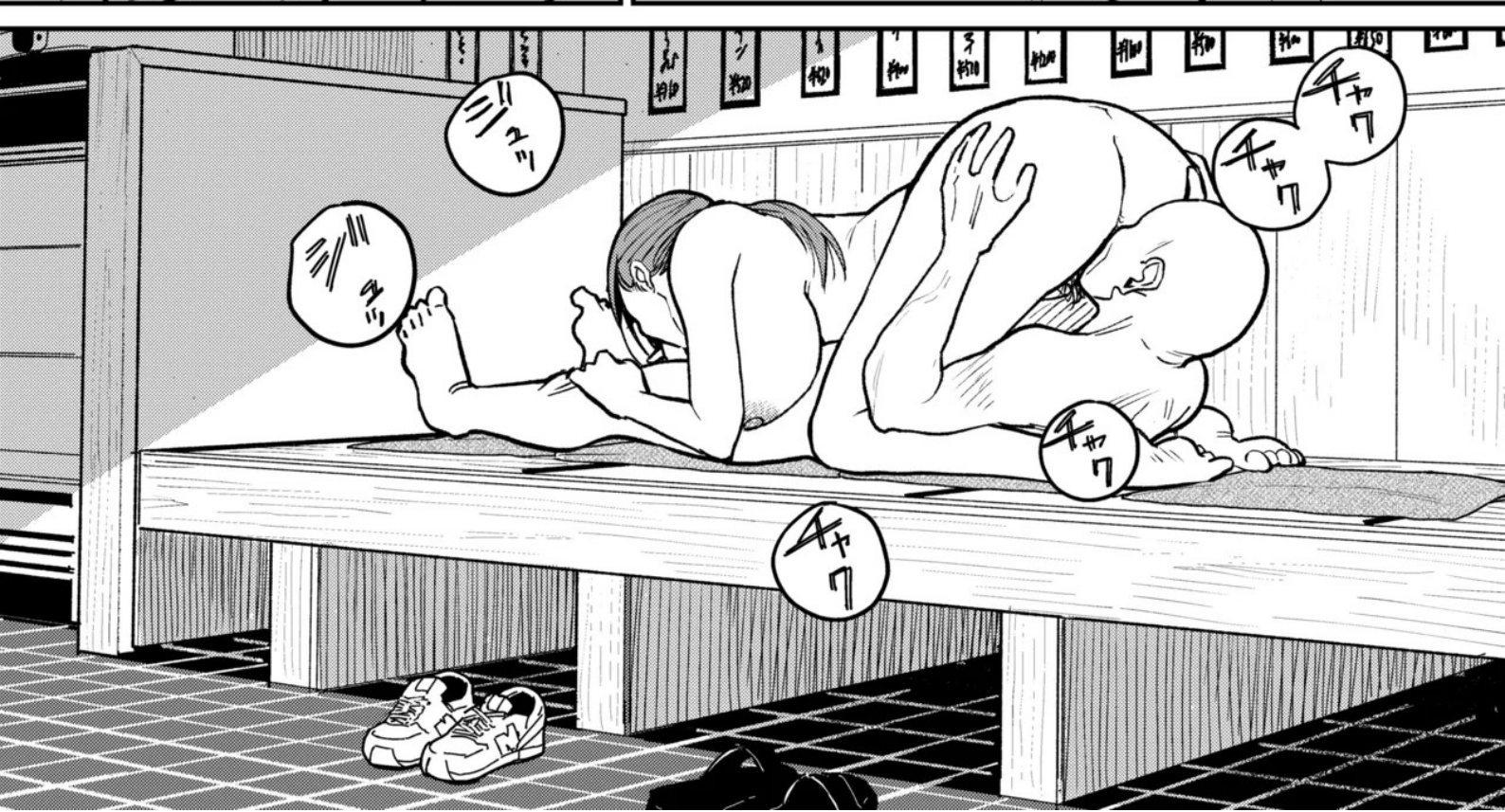


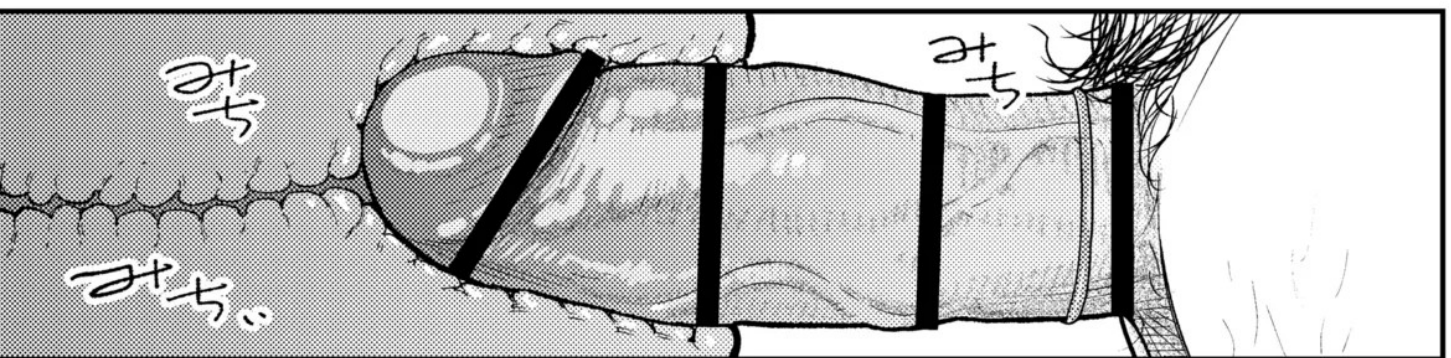
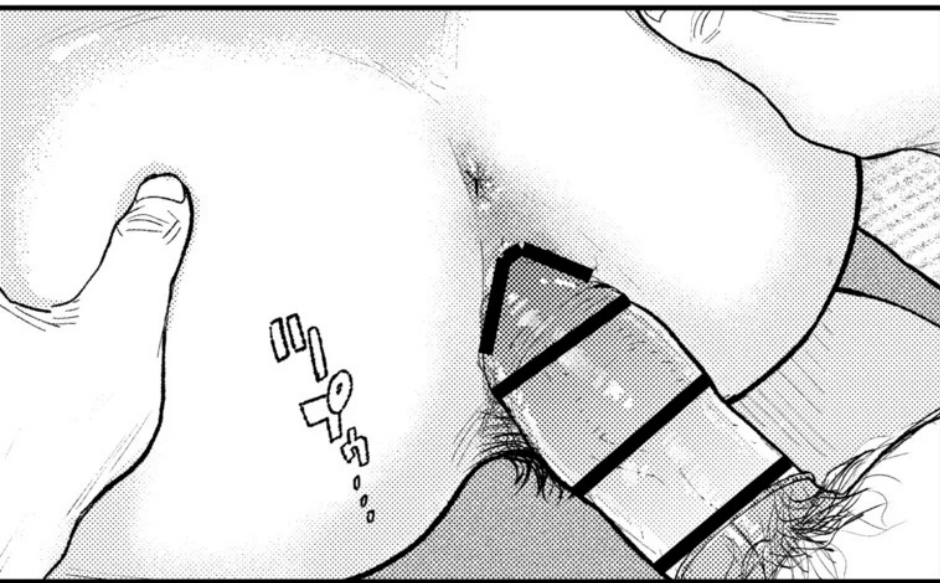
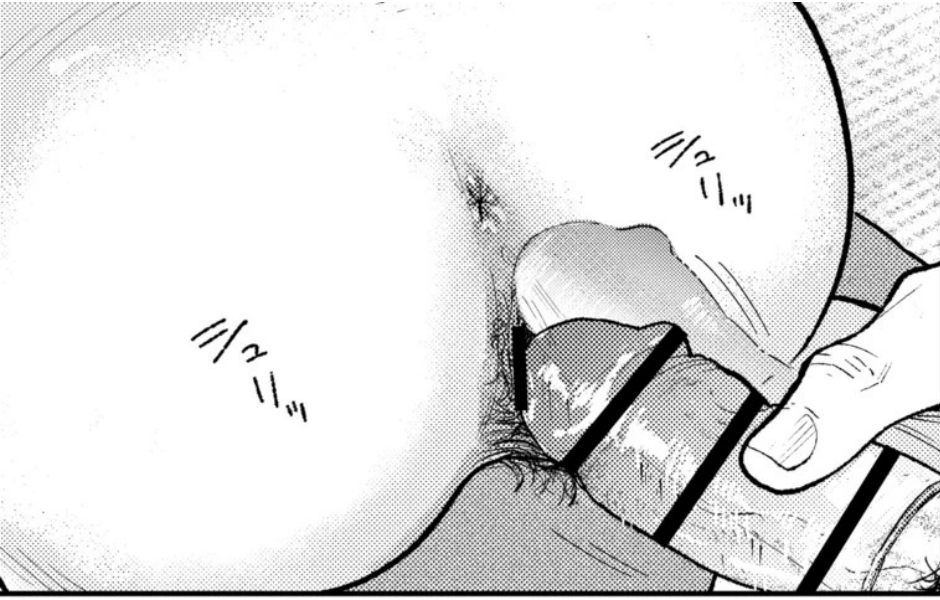




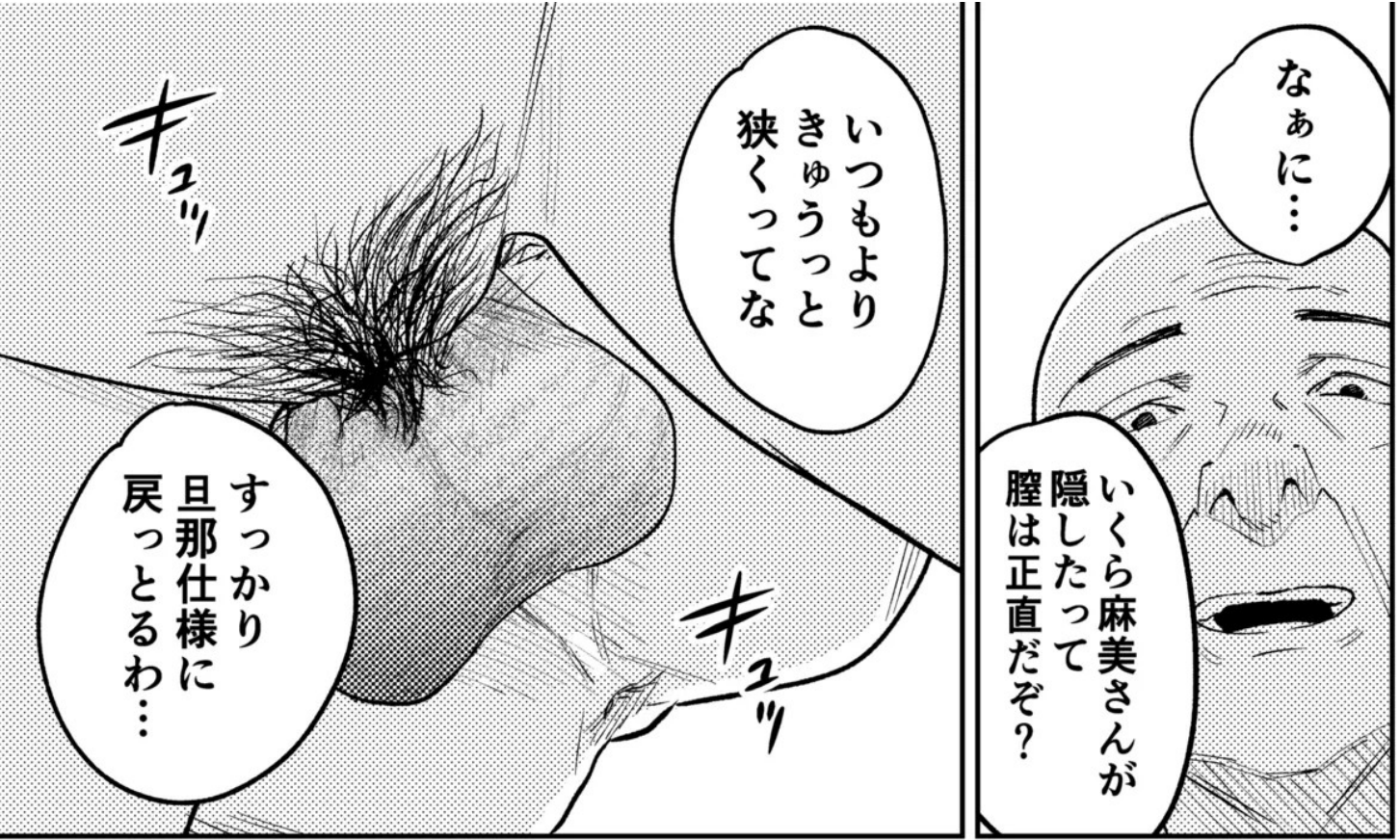












なあに…

いくら麻美さんが
隠したって
膣は正直だぞ？

いつもより
きゅうつと
狭くってな

すっかり
旦那様に
戻つとるわ…



つくづく

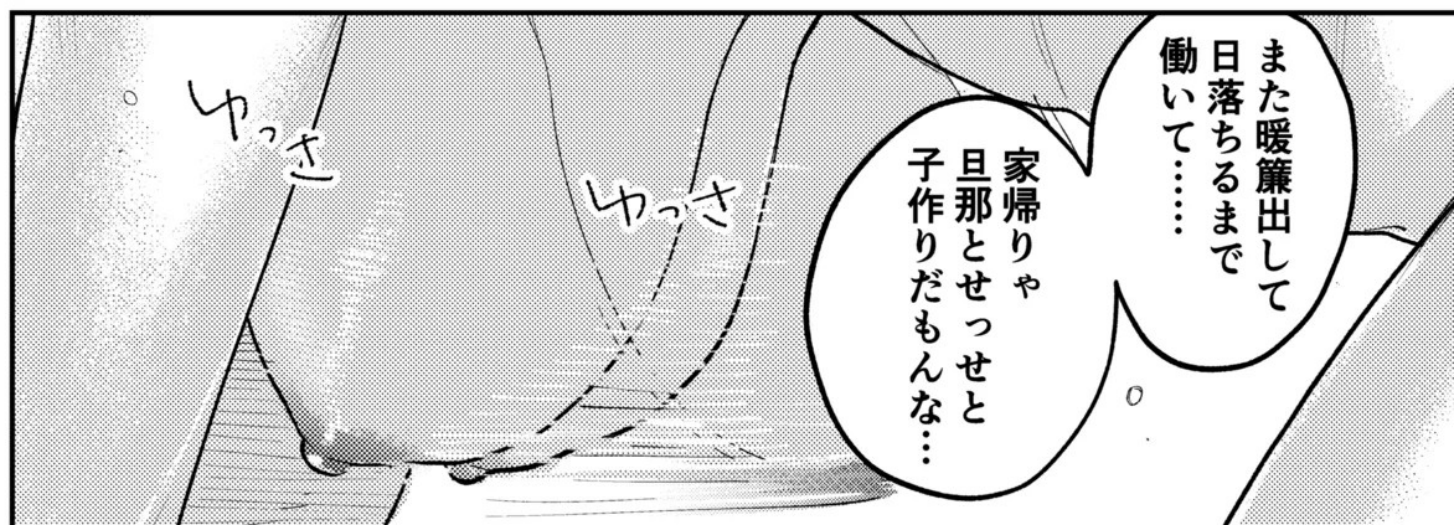
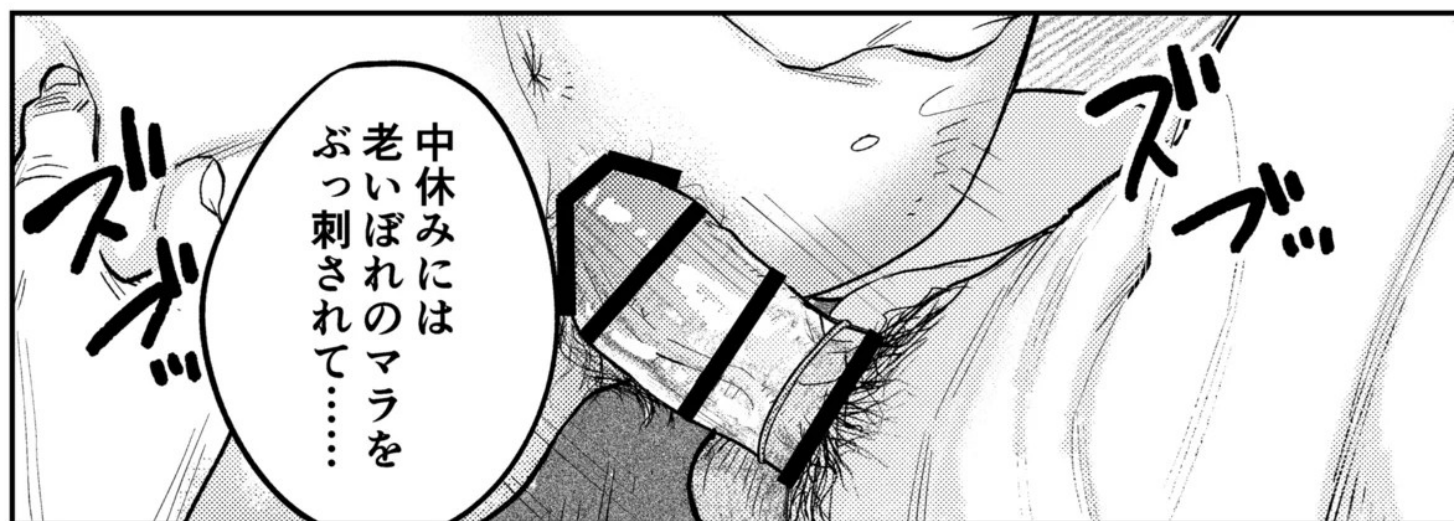
旦那さんが
羨ましい

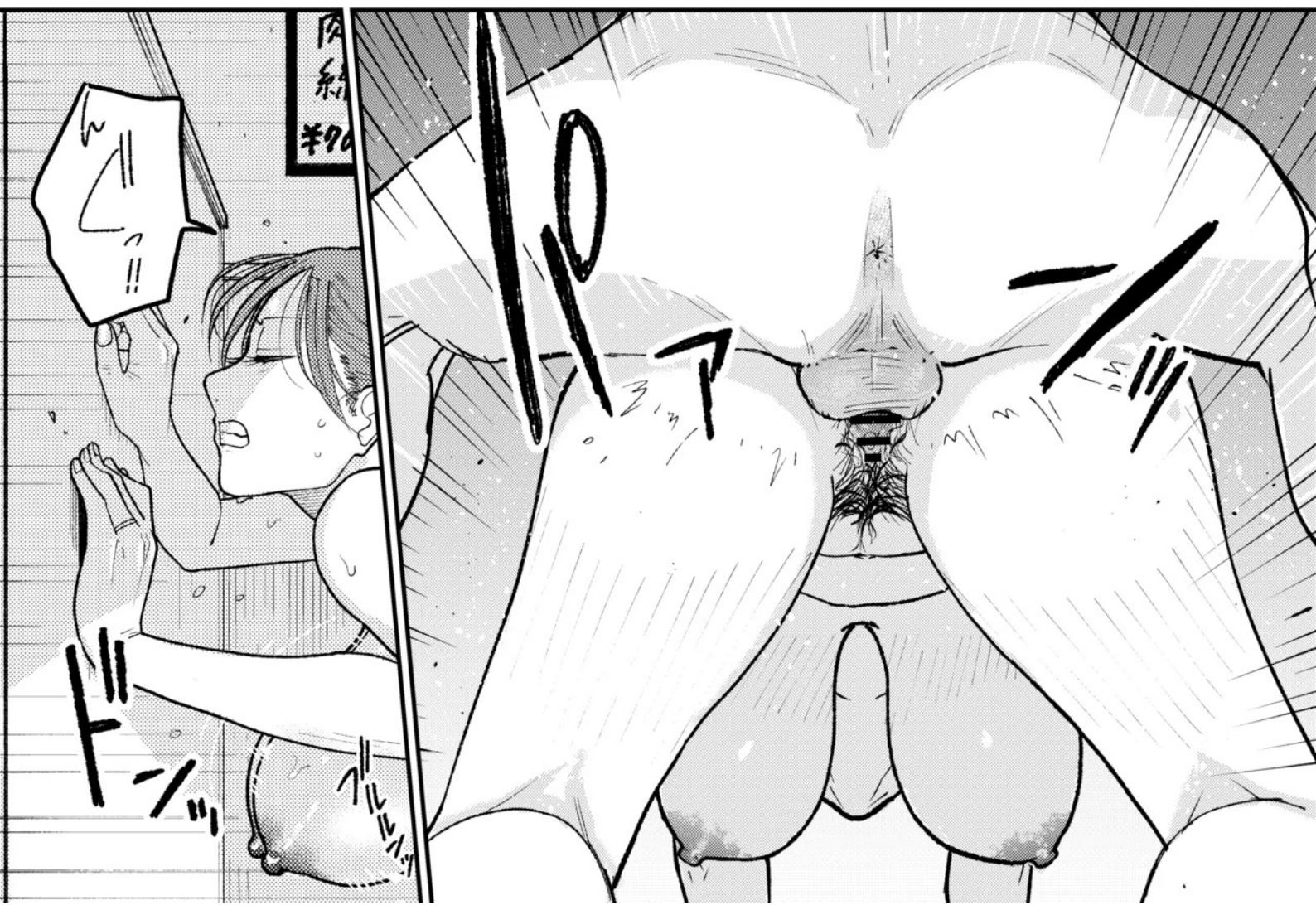
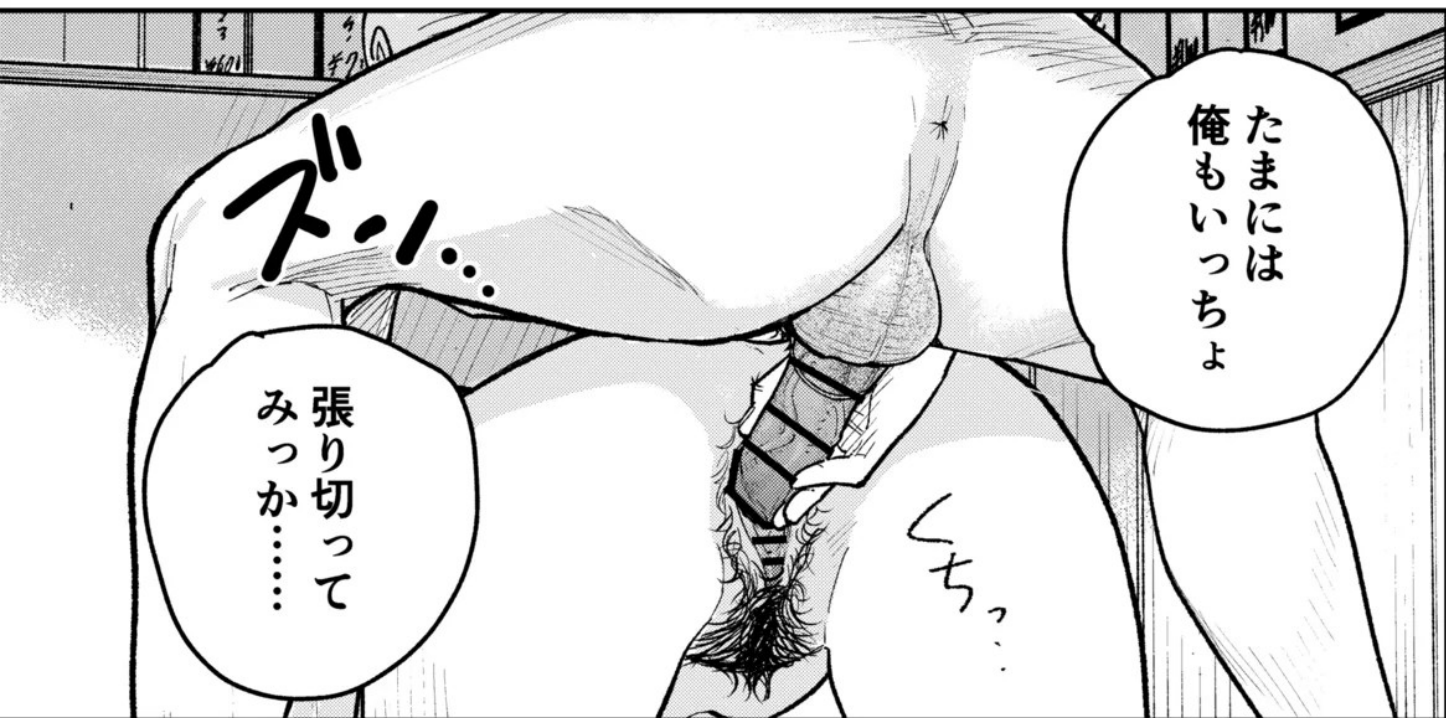
一度は
味わって
みたいもんだ



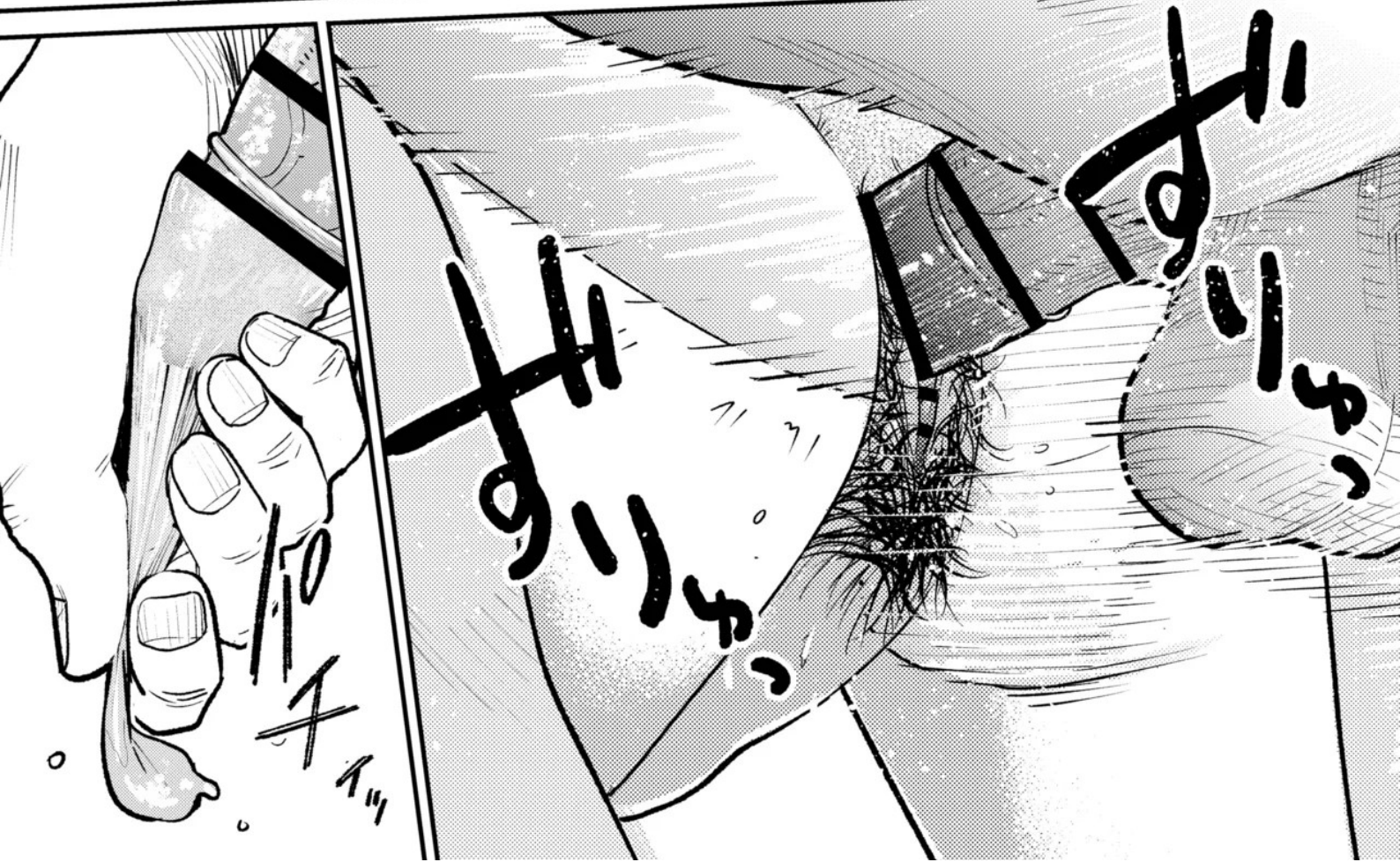
麻美さんの
肉襞にくひだを直に
擦こすれるなんてなあ

生だけは
絶対
ありえないから…

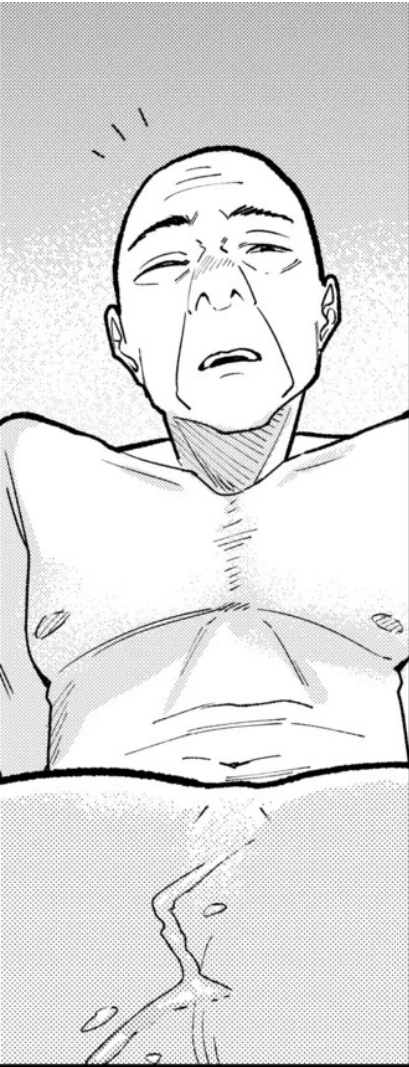


















せつ
誠司……!

なんで……
ここに……?

驚かせ
ちゃった?



おっ

やってたやってた



外回りで
こっちの方に
来ててさ

麻美がここで
働いてんの
教えたら

コイツ
店行こうって
うるさくて……

アハハ
すんません



ま……
まあ

入れば……?



ア……

ア……



そ……

ア……

そう……



こっちこそ
奥さんには世話に
なりっぱなしでねえ

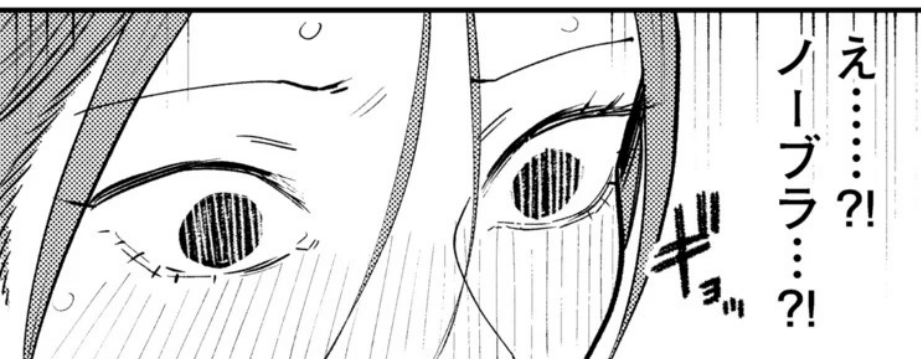


どうも…!!
いつも妻が
お世話になってます

むに



……



え……?!
ノーブラ……?!
ギョッ



そちに
置いていた

ハッ



そっか……
慌てて出たから
うっかりつけ忘れて……





店長と……

どうそどうぞ



そこは……
さっきまで……



うちの特等席
座ってやってください



えっ



あ……
いいですか？

ええ
せっかくご主人
いらしたんだ

……



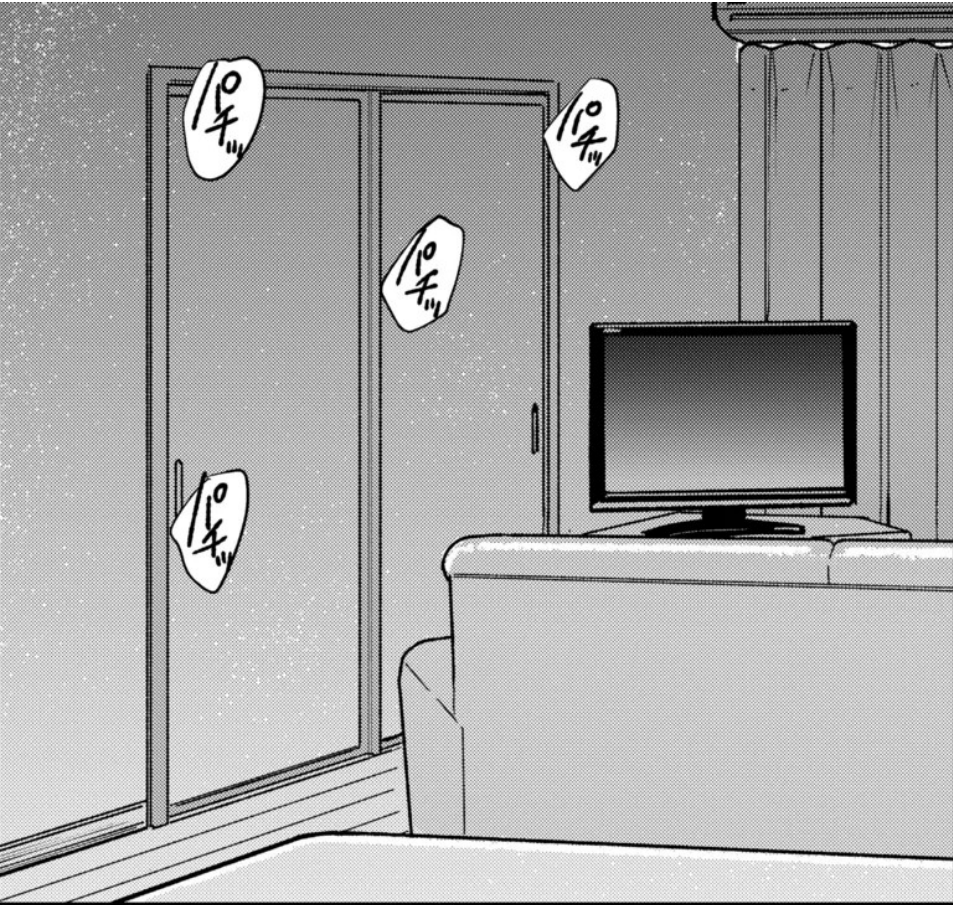
じゃあ
店員さん

オススメは
なんですか？



五目そば……

かな……



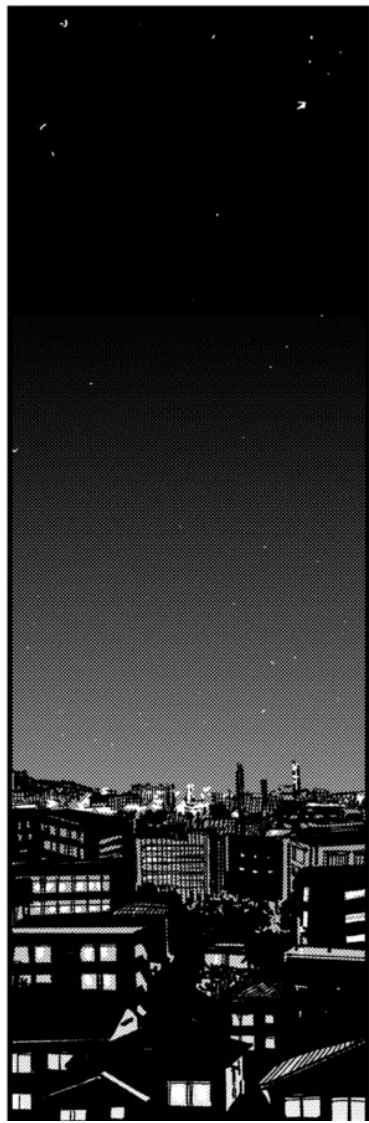




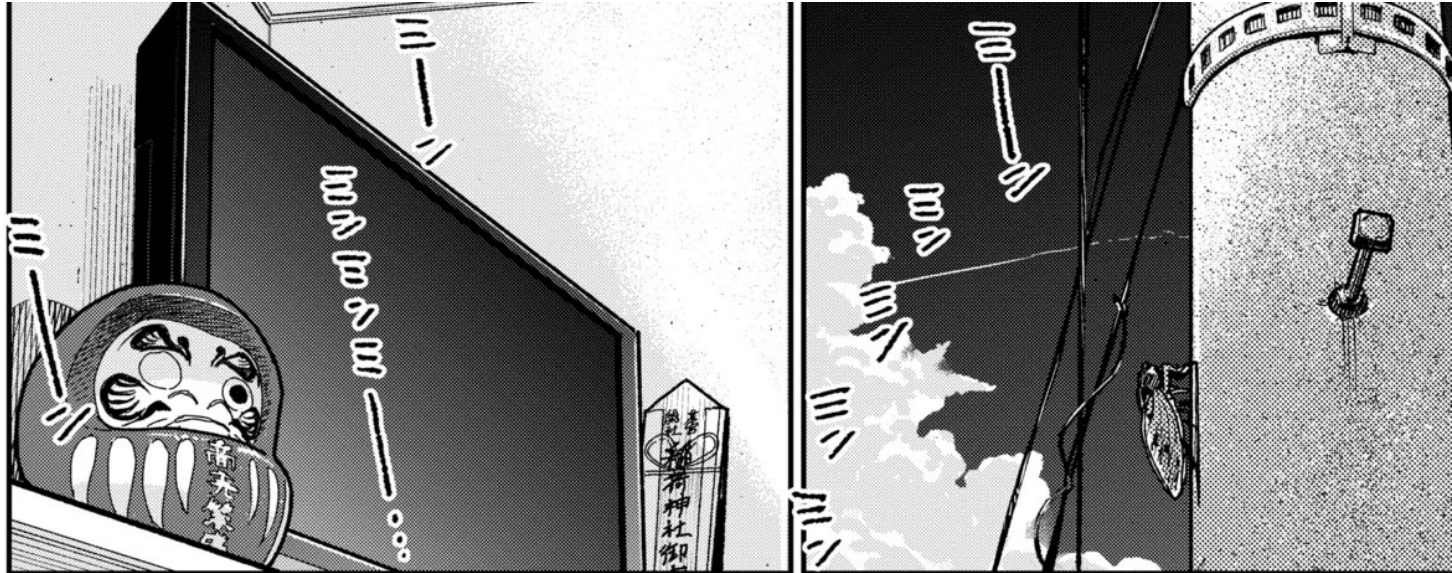
うん……
う……



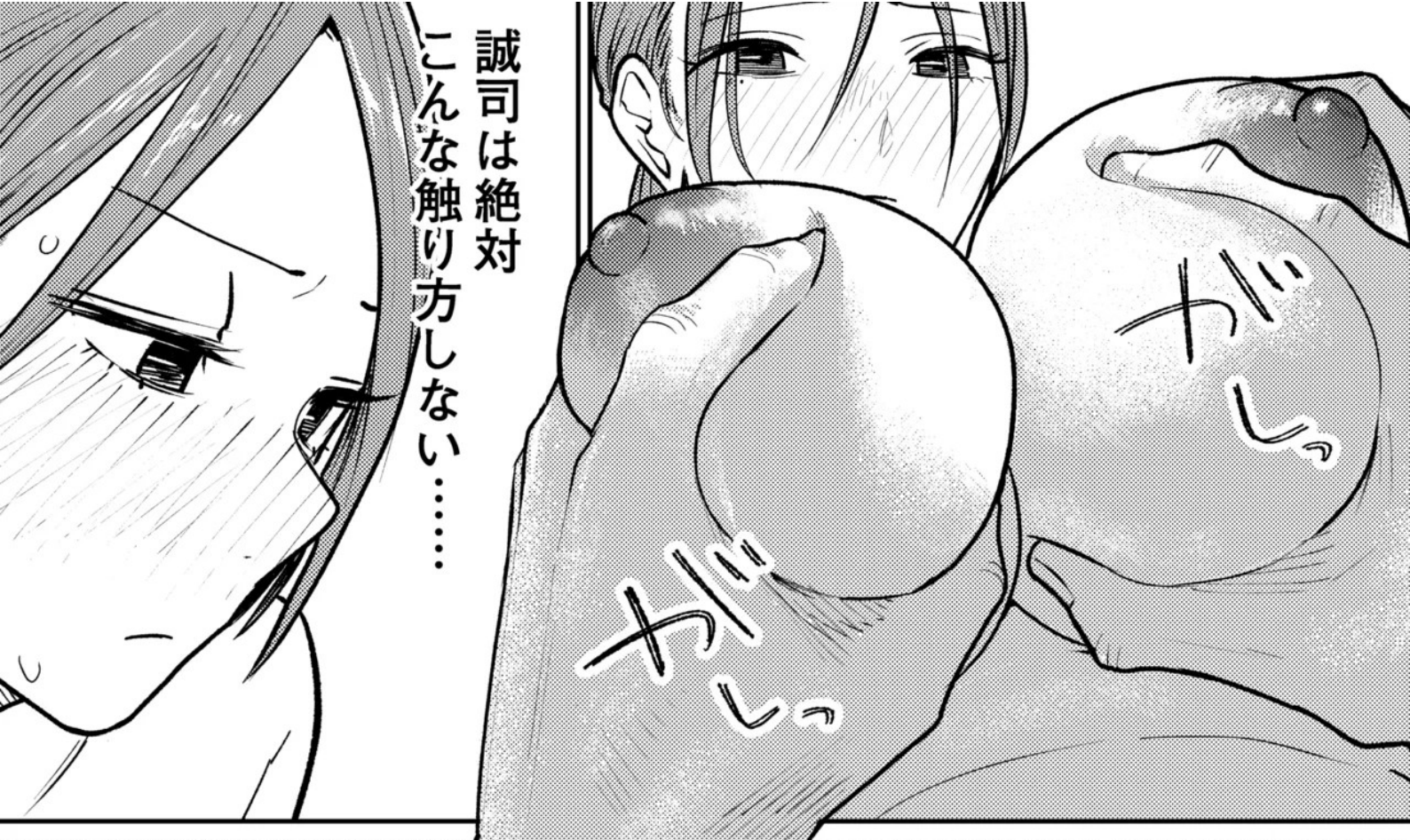
あさみ
すっげー
気持ちいよ



私も……







誠司は絶対
こんな触り方しない……



ありえない……

こんな乱暴で
独りよがりな
触り方……



うん……
大丈夫

だいじょぶ？
痛くない？

私を気遣いながら
優しく触ってくれる……

ありえない……って
思ってたのに……

なんで……？

分厚く硬い皮の手で
強く揉みしだかれて

乳首を激しく
弾かれるたび

誠司の時とは
違う――

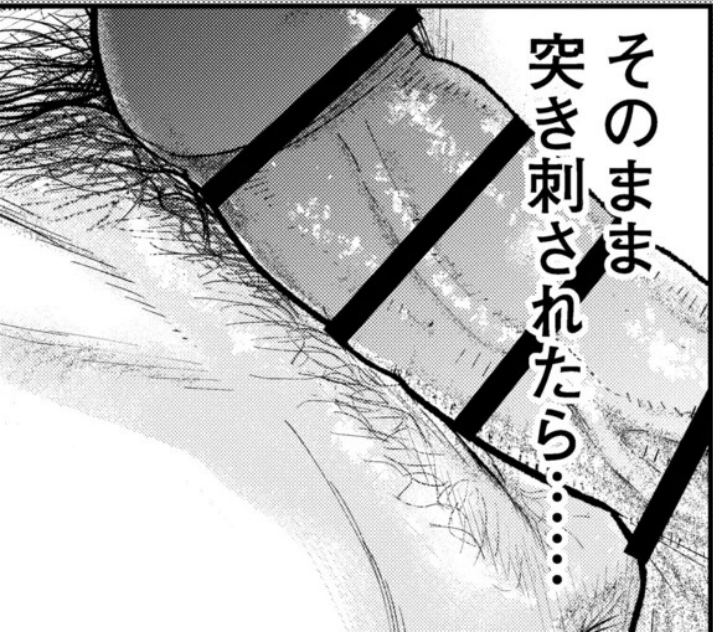
圧倒的な男らしさを
感じてしまう……!!

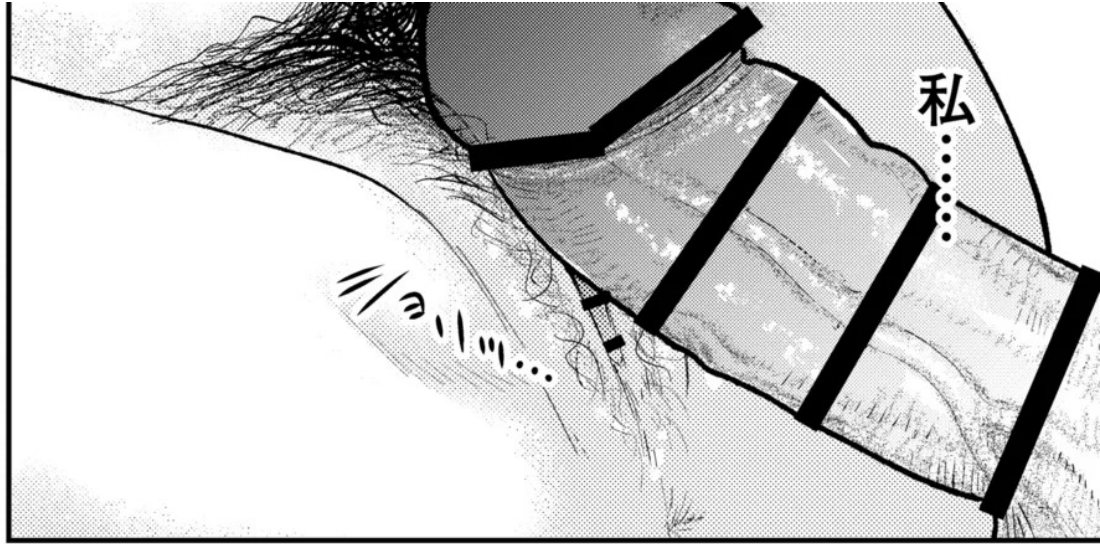


今おまんこの上に
乗っかってる
熱くて硬いのを



そのまま
突き刺されたら……





私……



どうなっちゃう
んだろ……
くいっ



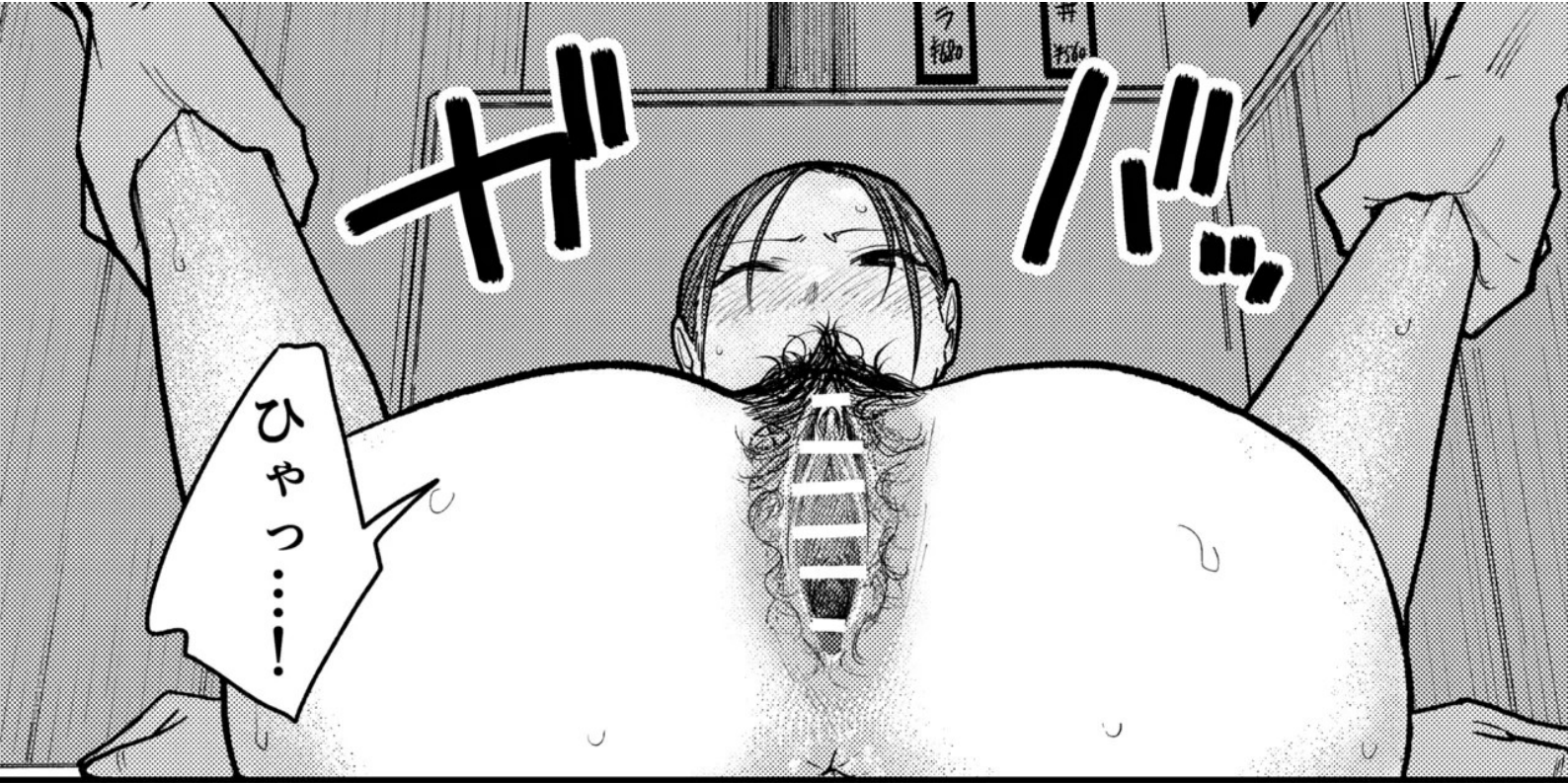
ちっ……

違いますっ……!

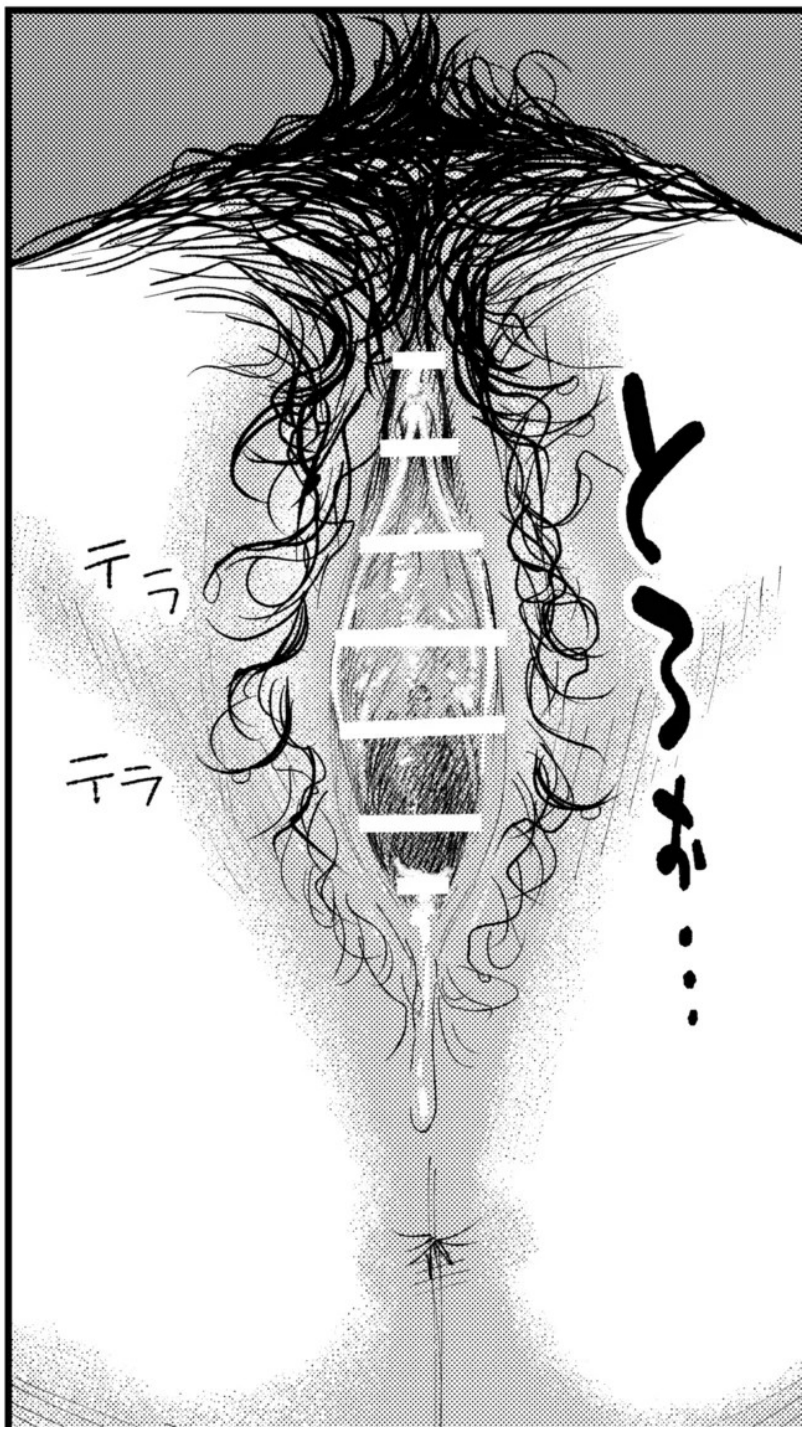


おいおい
麻美さん……

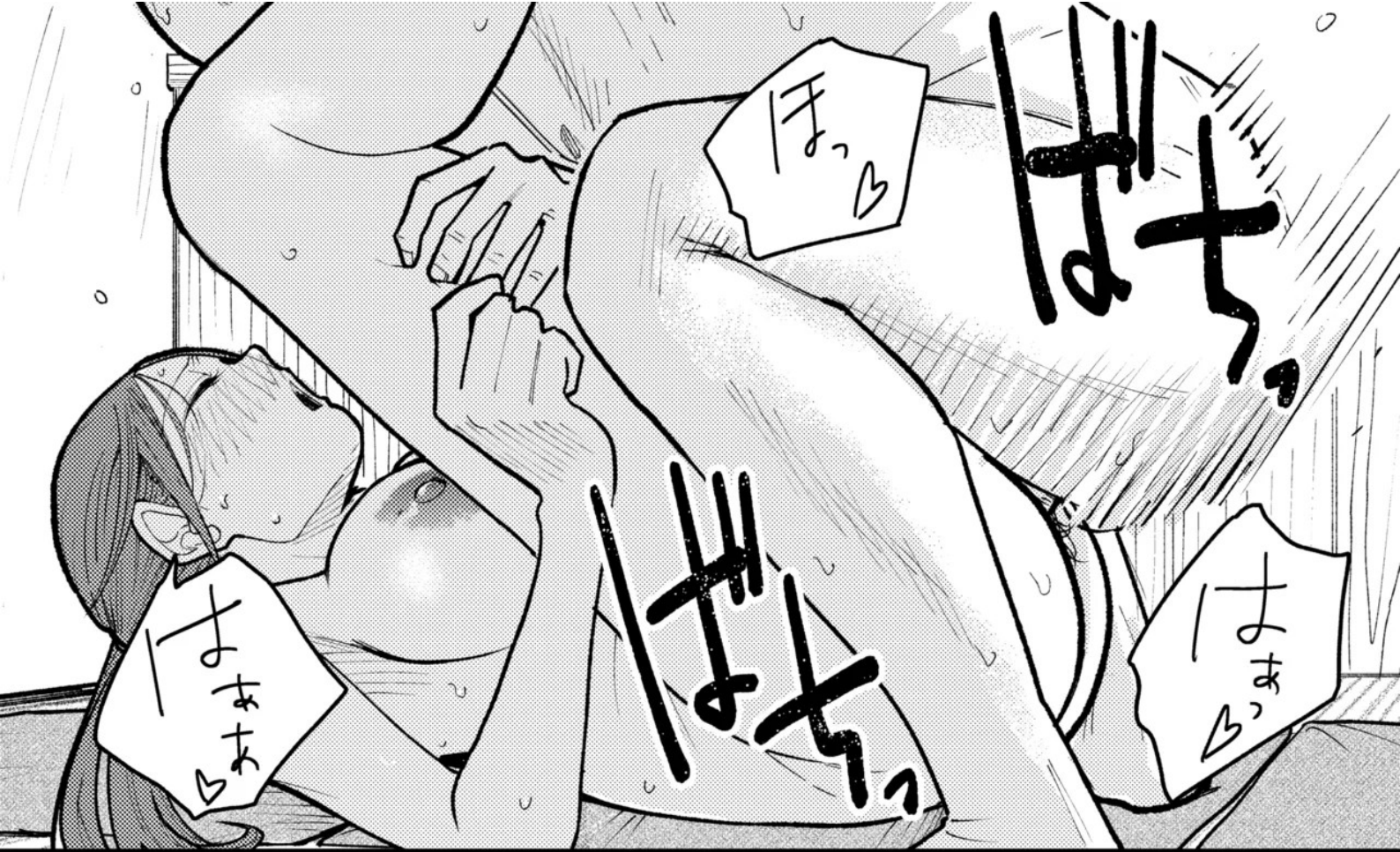
自分から
擦り付けちまって
どうした……?



ほれ……
まんこがはしたなく
涎垂らしてゐるぞ？





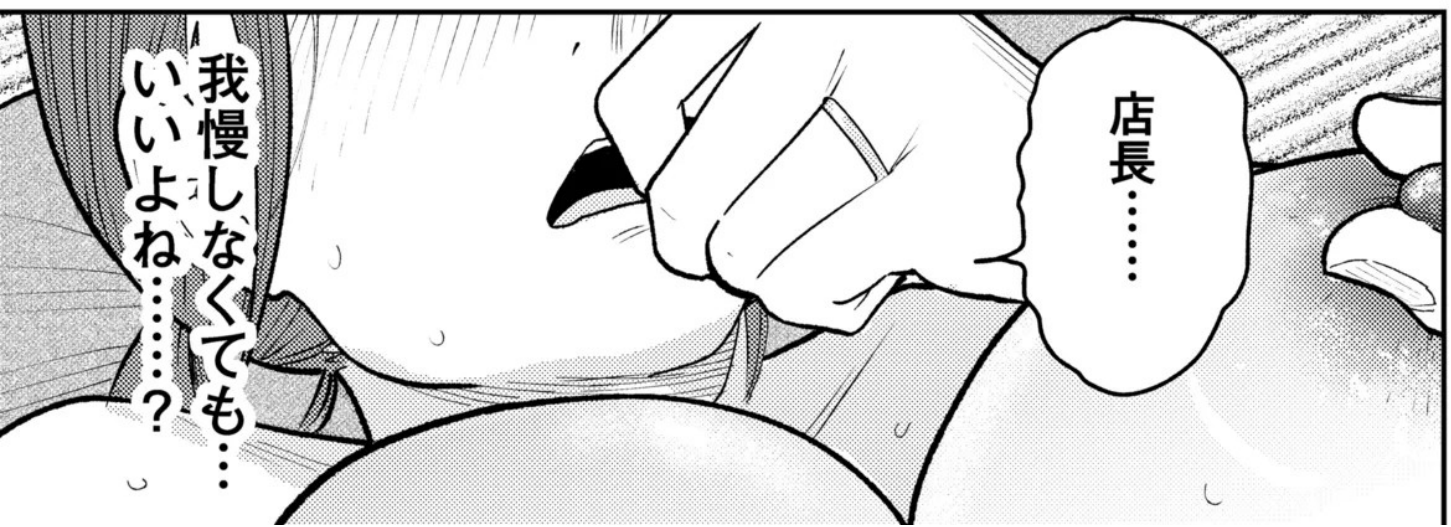
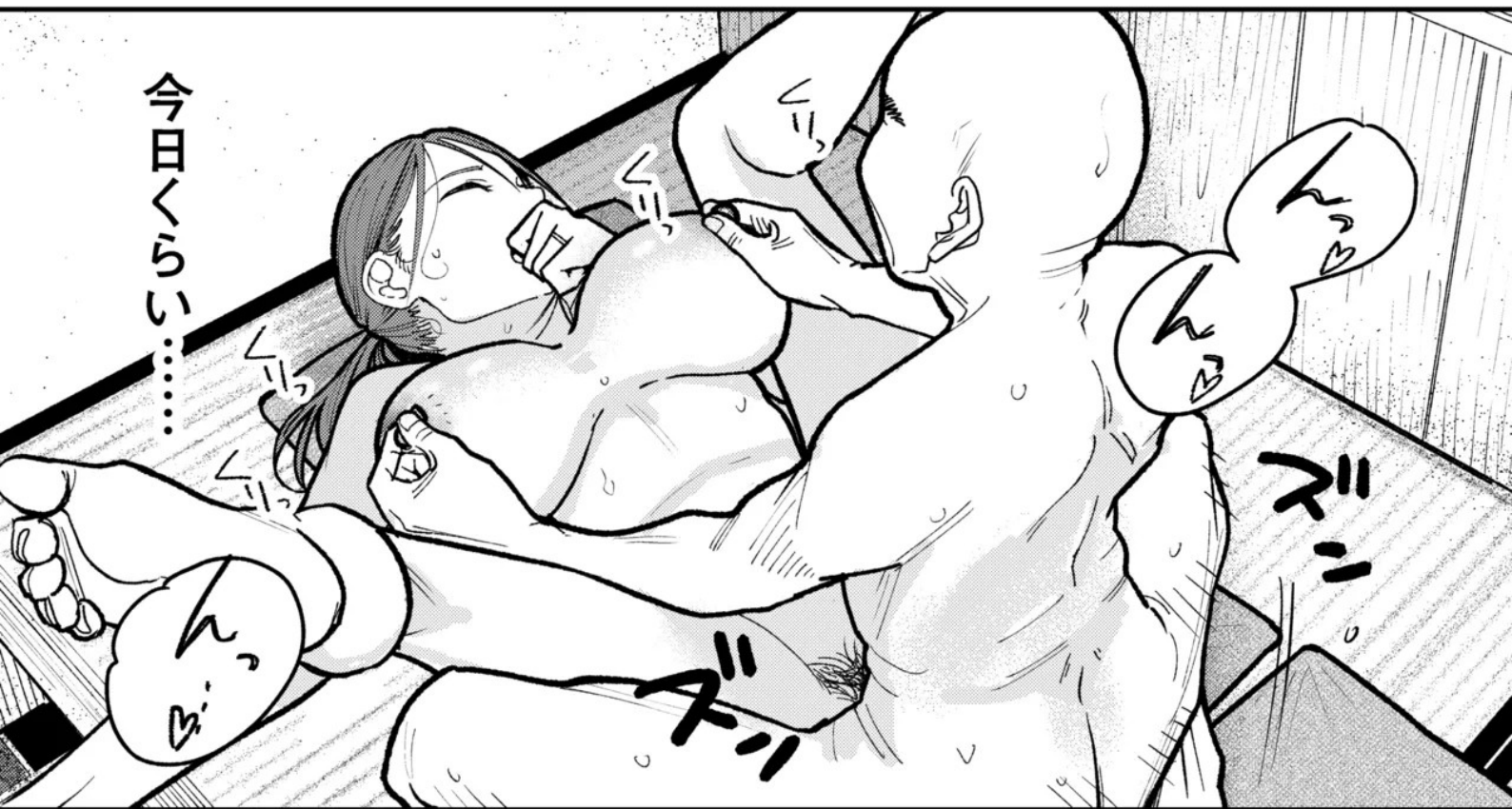


すずいっ……!!

私の膣
奥の方まで
全部使われてる……!!









おお：
今日の麻美さんは
我儘だなあ



上……乗って
いいですか？

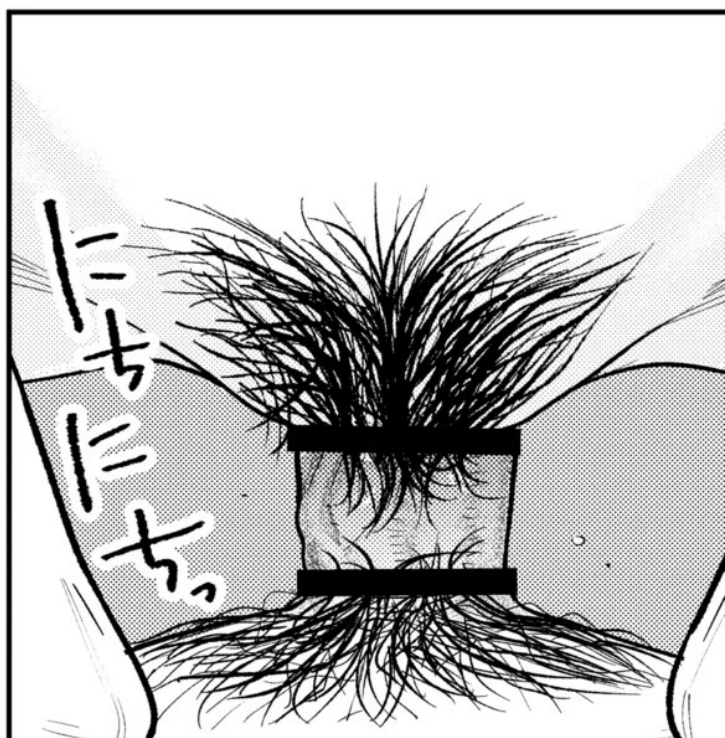
あの……



そんじゃあ

麻美さんに
たっぷり
ちんこ擦って
もらうとするか

っ……



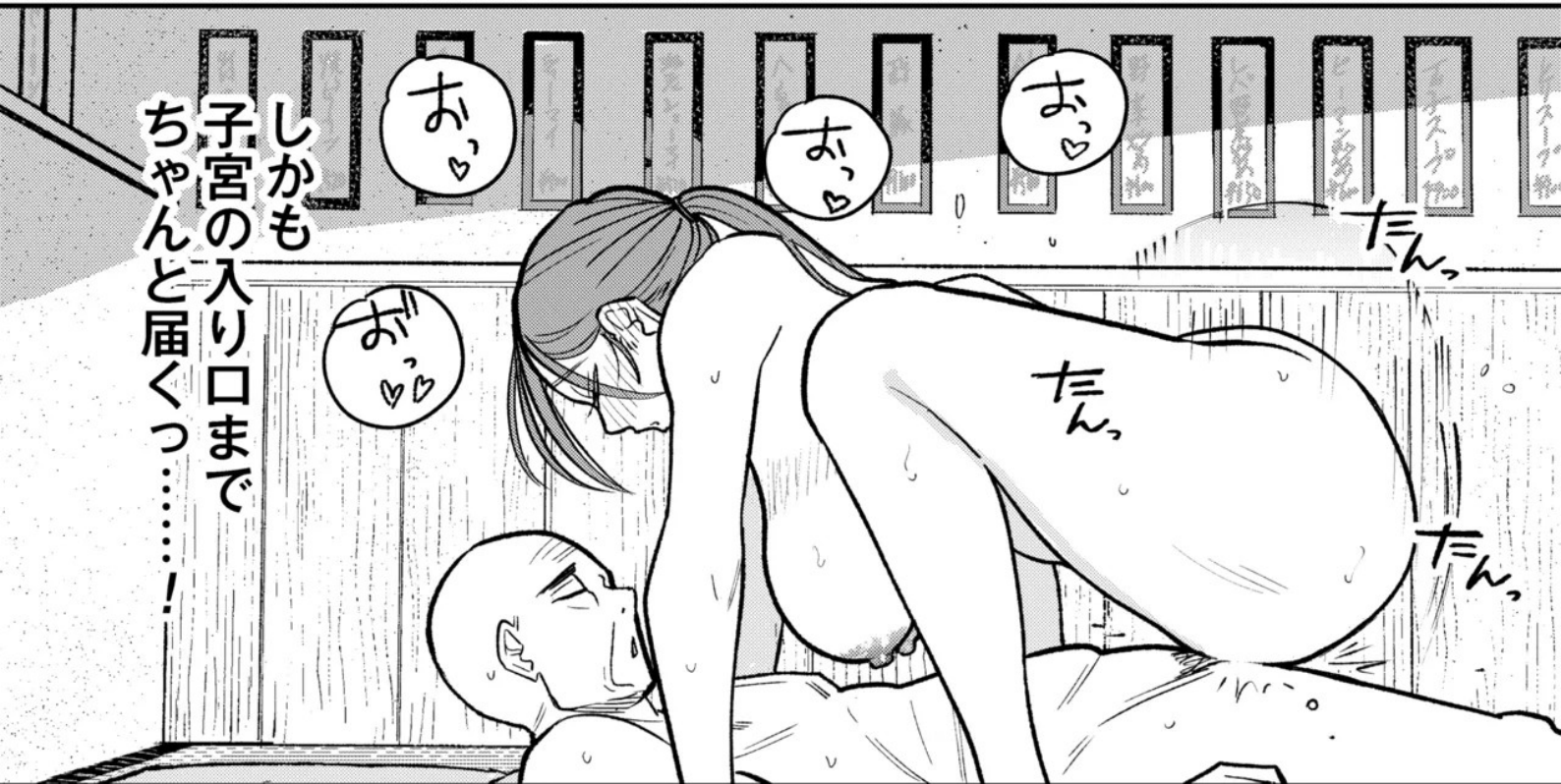


いっぱい擦れて
きもちい……

あ、♡

あ

スルルル……



あ、♡

あ、♡

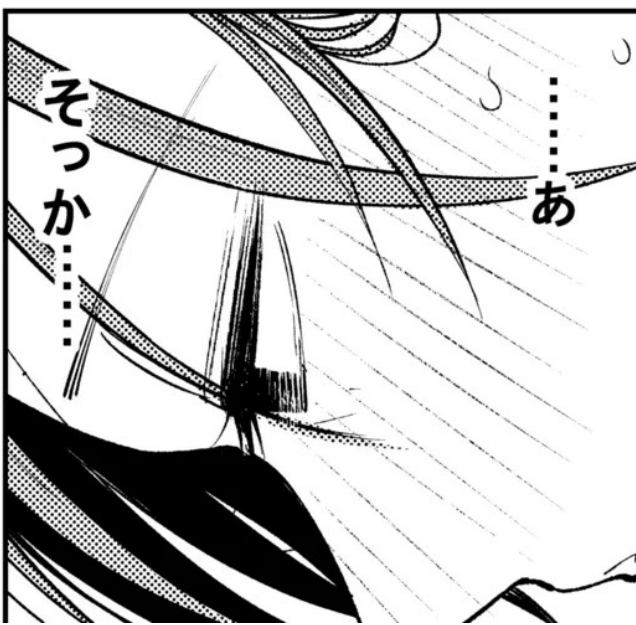
あ、♡

あ、♡♡

しかも
子宮の入り口まで
ちゃんと届くっ……!!

たん

たん



あ

そっか……



おおおおっ
見事な
釘打ちだ……

誠司とした時

あんな
抜けちゃったのって

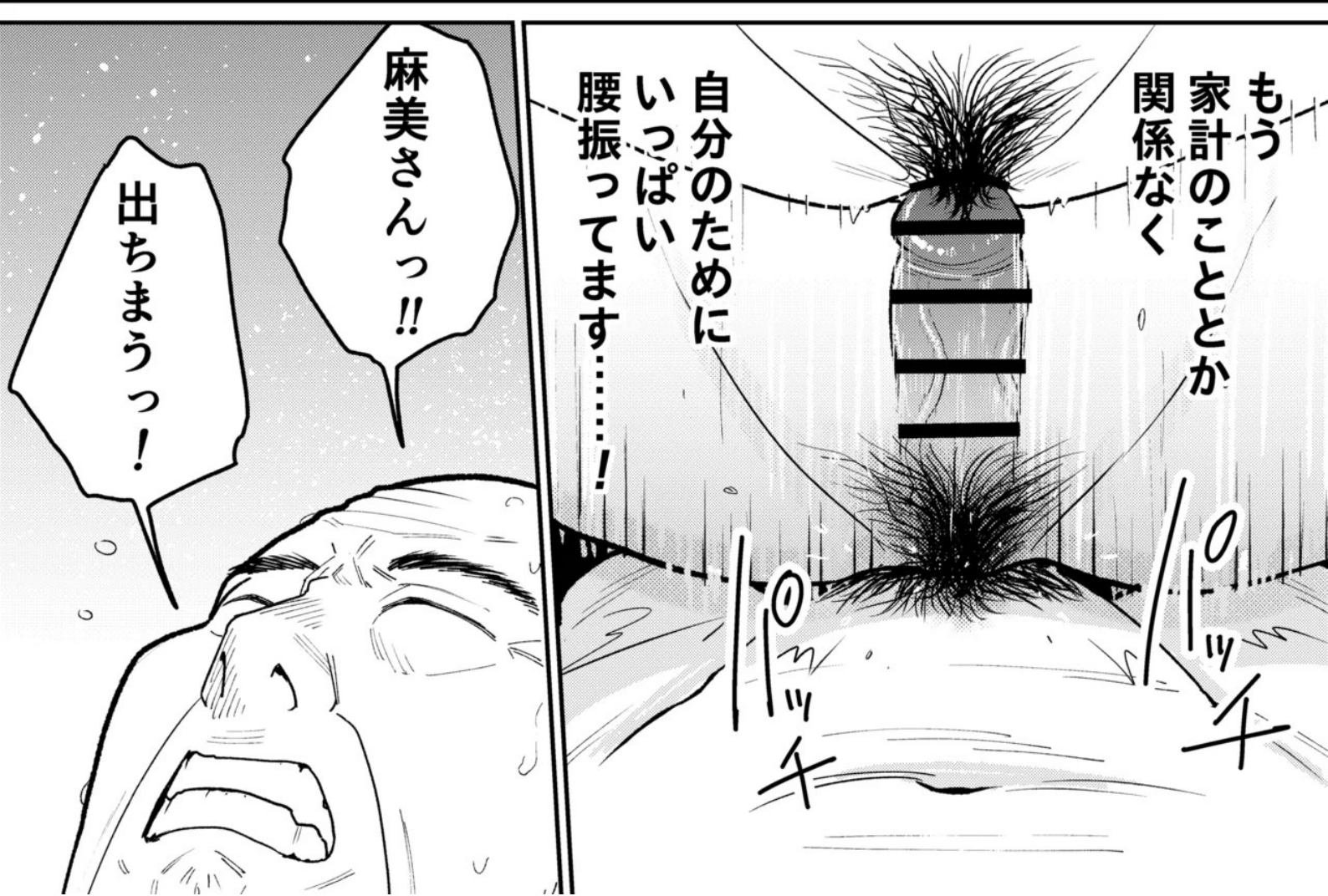
とつくに
私の身体が

店長用に
なったからだ……

誠司……

ごめんね……

いま私——



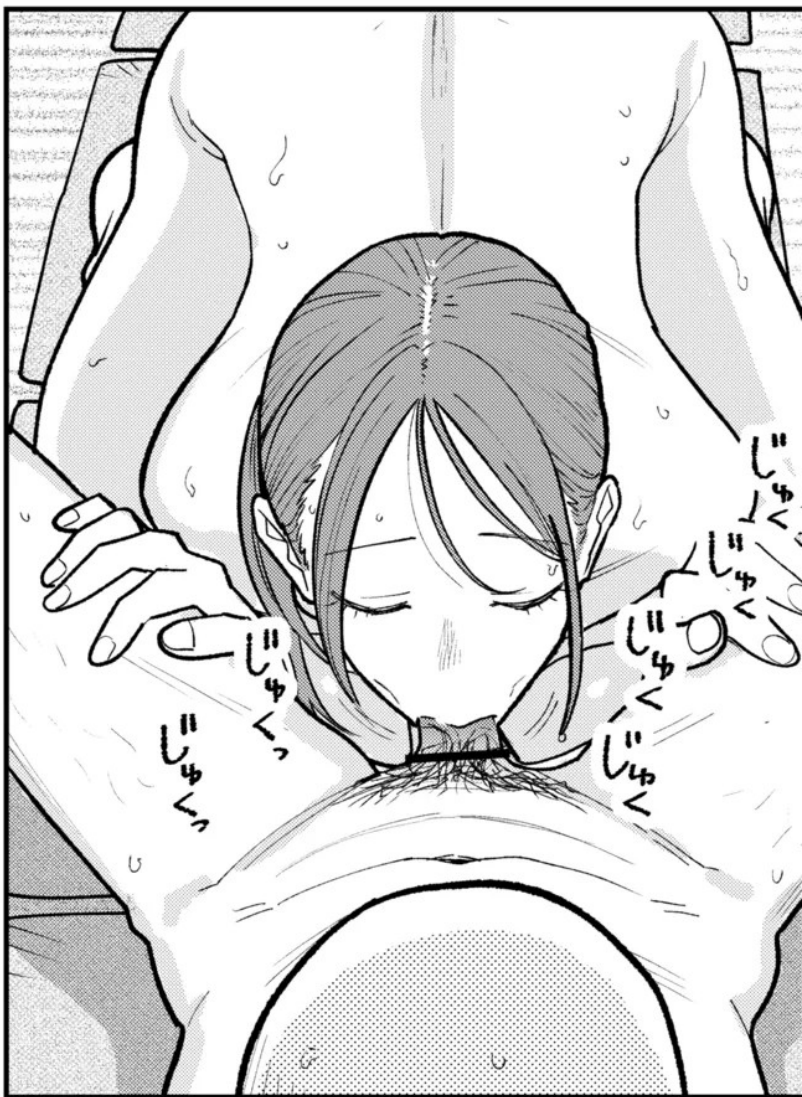
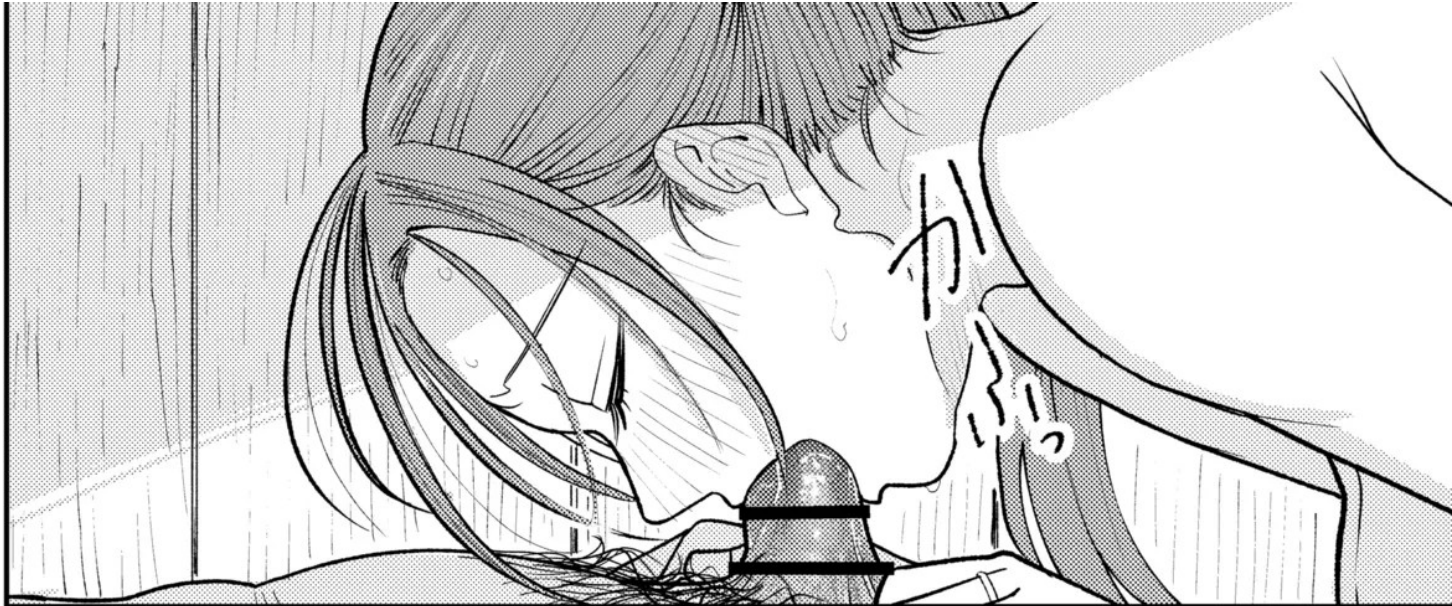
ダメ………！

抜かなきゃ………！
抜かなきゃ
ダメなのに………！



だめだ
とまんないや………







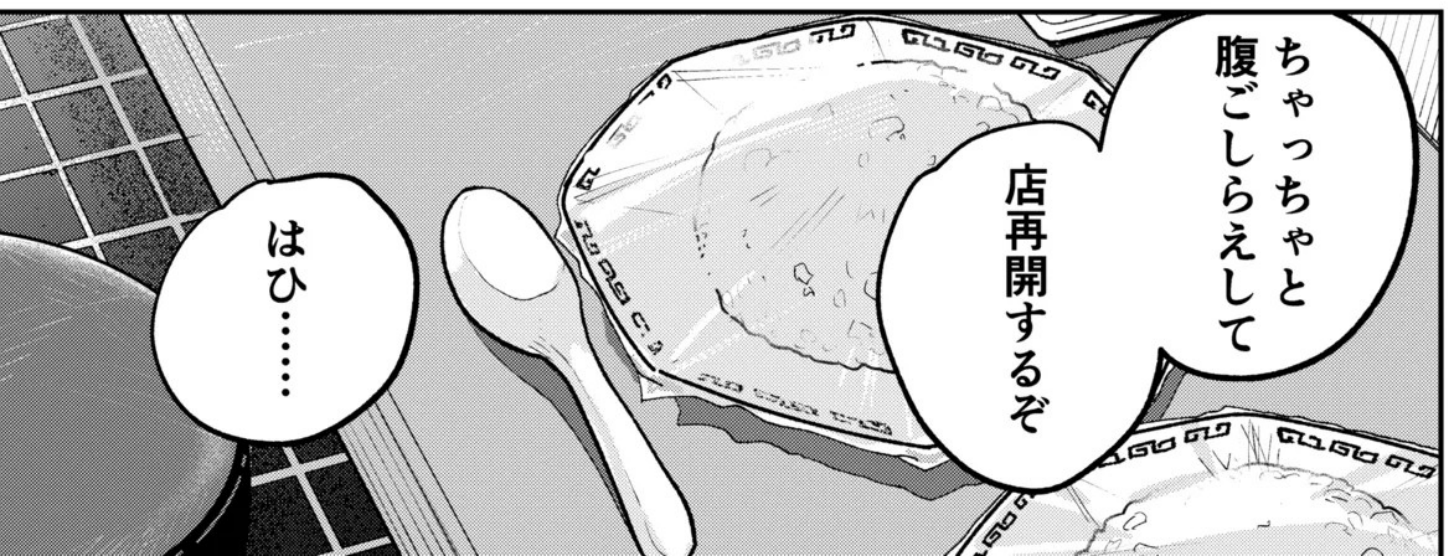
ほれ麻美さん
いつまでも
しゃぶってねーで



もう
こんな時間か……

ほお

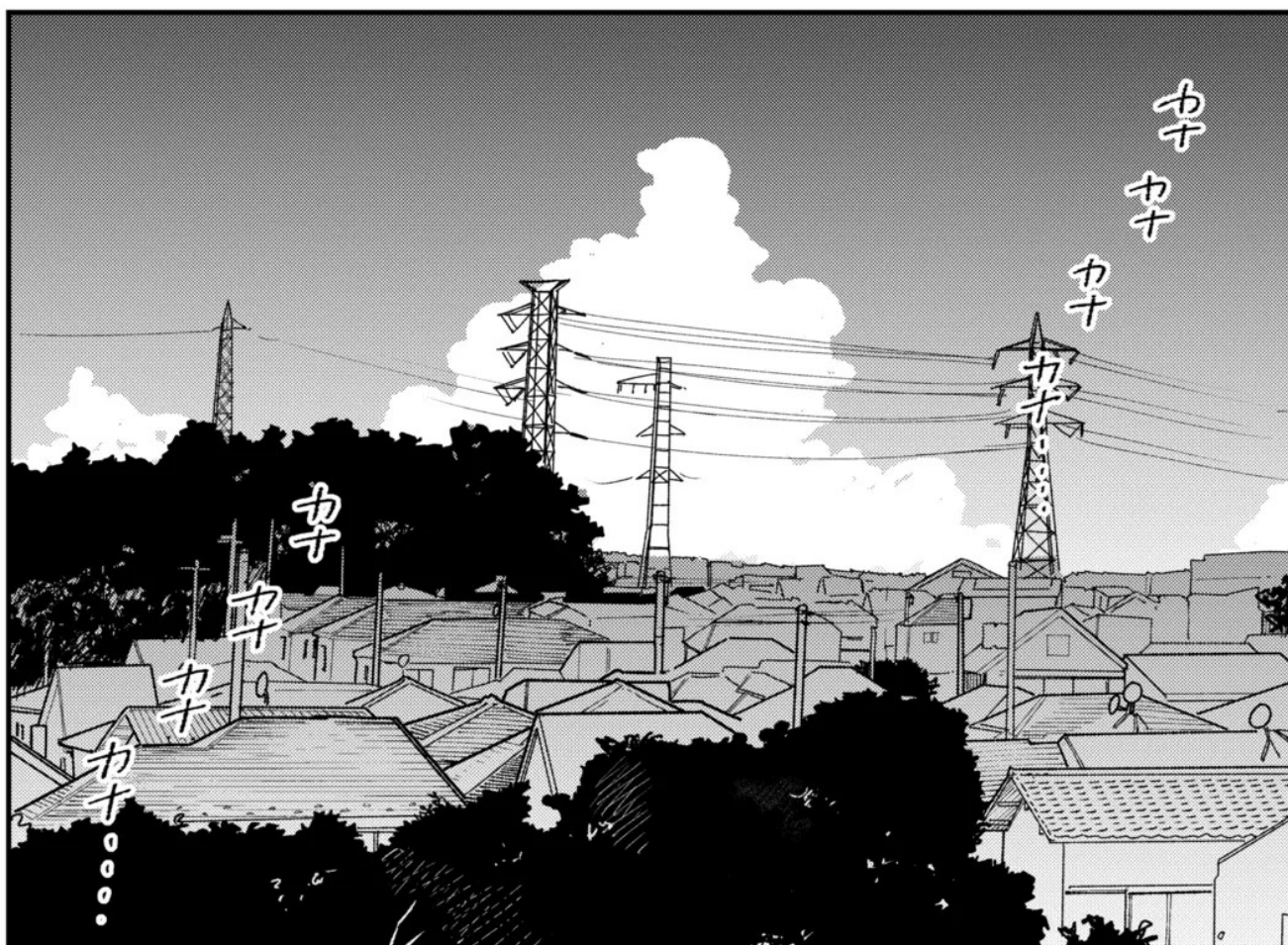
ほお

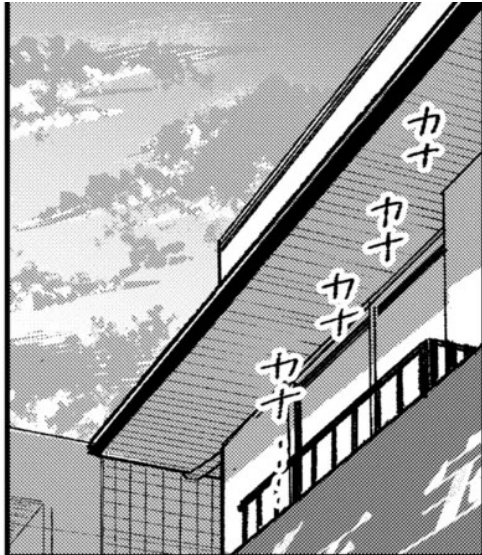


はひ……

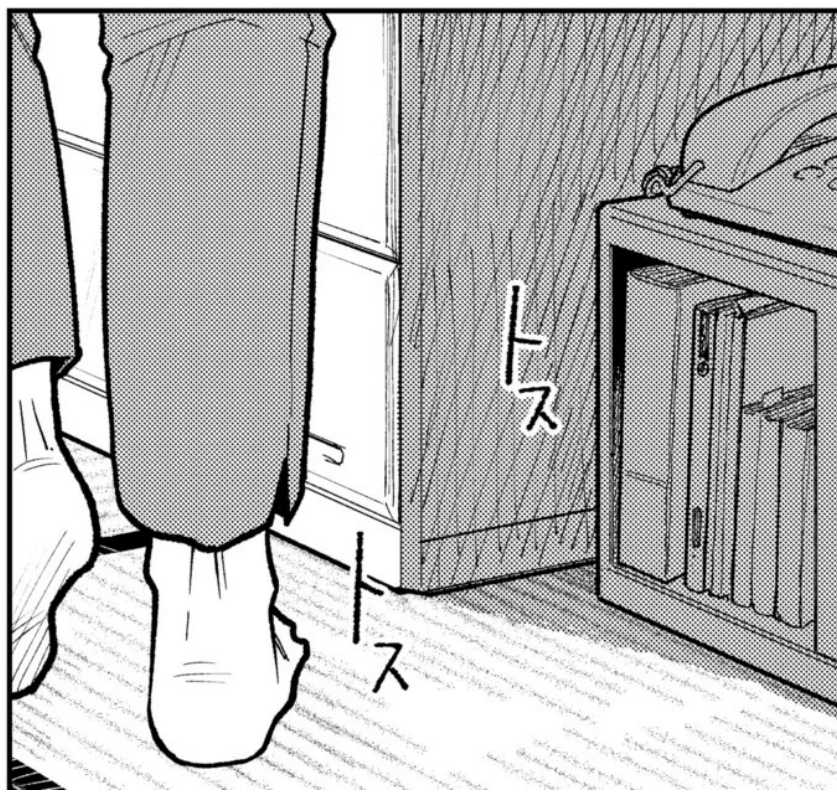
店再開するぞ

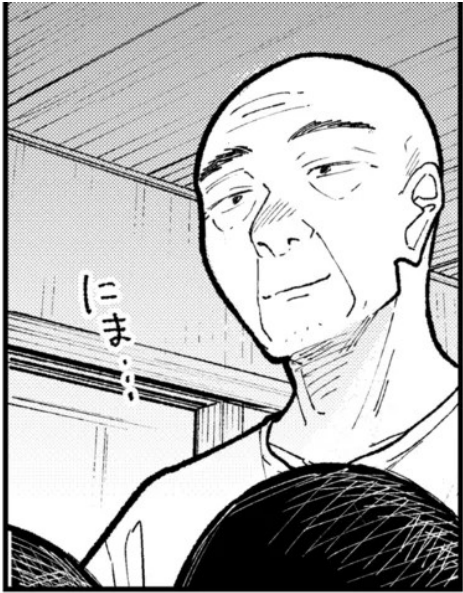
ちゅくちゅくと
腹ごしらえして





私は
バイトを辞めた





にま...



ズラッ...



中華料理

天

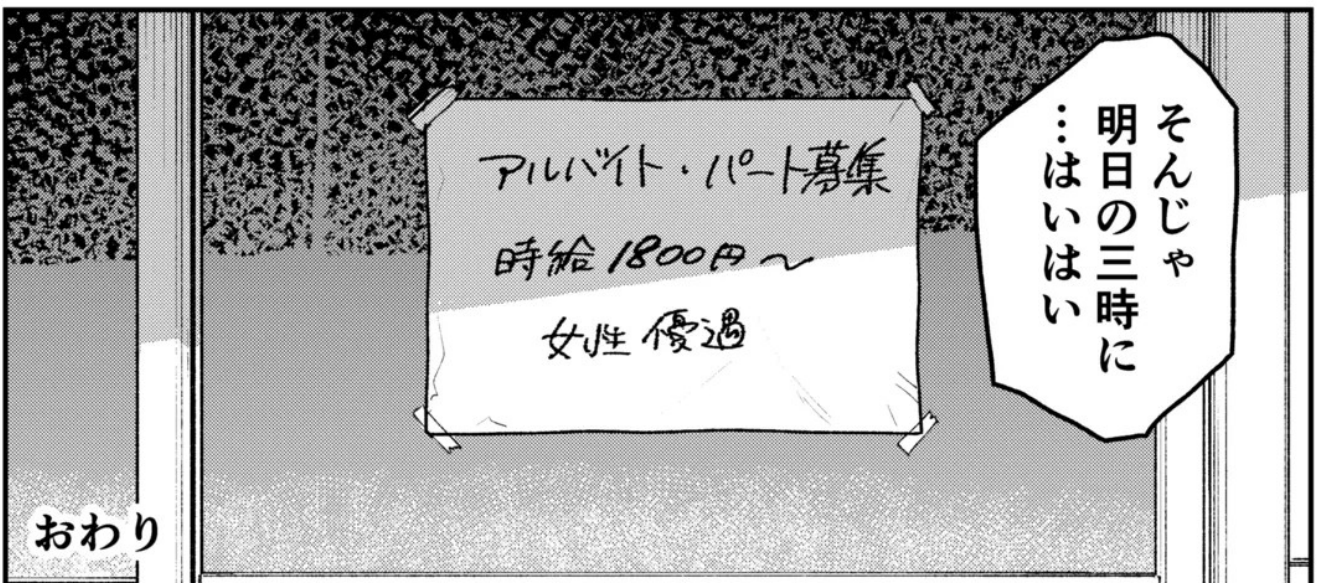
はいはい
もしもし

あーはいはい
面接ね
大丈夫ですよ

準備中



プルプル...



アルバイト・パート募集

時給1800円〜

女性優遇

そんじゃ
明日の三時に
はいはい

おわり